



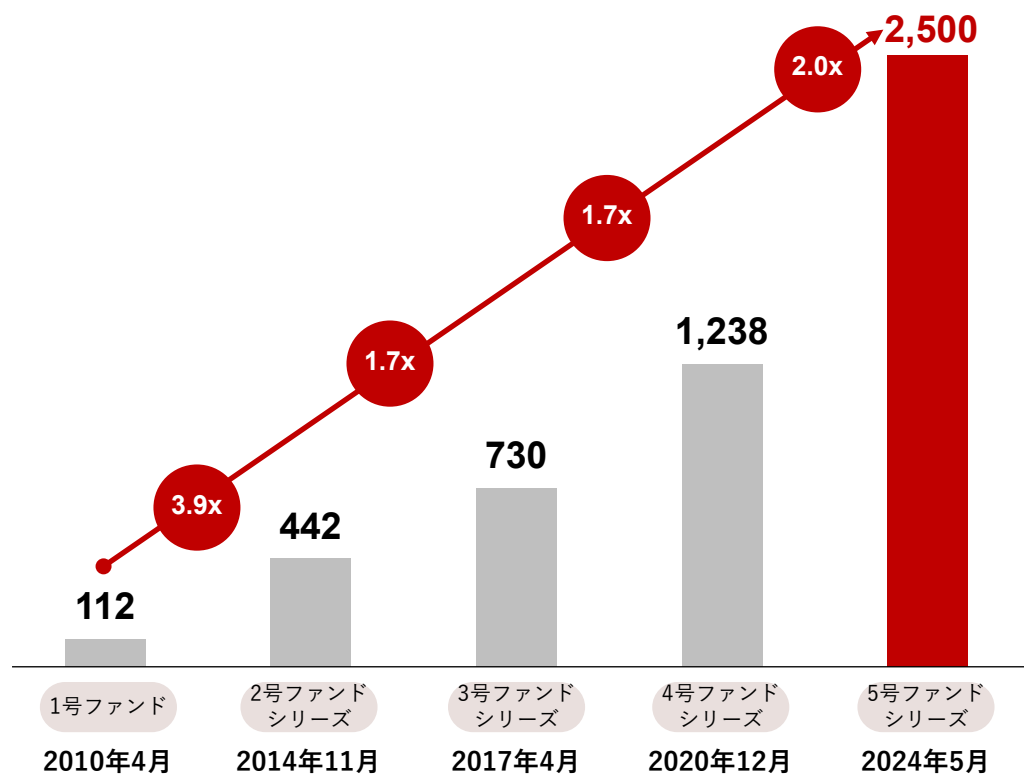
FY2025Q2 決算プレゼンテーション

インテグラル株式会社

2025年8月

日本型プライベートエクイティファンドの リーディングカンパニー

(億円)



グロスMOIC¹

2.8x

グロスIRR¹

31.6%

FE-AUM

3,715億円

投資
プロフェッショナル

62人/100人

1. 投資期間中である5号ファンドシリーズを除く、1号ファンド、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズのグロスMOIC、グロスIRRの単純平均（1号ファンドはファンド清算時、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズは2025年6月末時点）

日本の中堅企業に注力しながら、 これまでに投資した事業価値（EV）累計は7,000億円超

1号



封入封緘機 大手



世界的バリコレブランド

SHICATA CO.

女性靴OEM 大手



TVCM制作 大手



住宅賃貸斡旋 大手



光部品市場グローバルニッチ

2号



高集客居酒屋チェーン



くさび型足場製造 大手



低価格帯ネイルサロン 大手



低価格帯カット国内最大手



第3極最大手キャリア



世界最大級のクロマグロ養殖場運営



レディースアパレル大手



毛髪関連事業大手



車載用サーミスタ業界大手

3号



ダイレクトマーケティング事業運営



IT/RPAの専門家集団



肥料/アンモニア化学プラントEPC大手



独立系肥料メーカー大手



サンデン・リテールシステム株式会社
自販機・冷蔵ショーケース大手



ベルトコンベア部品大手・ロボットSler



DX/IoTの専門家集団



カラーコンタクト企画販売大手



プライダルリング大手

4号



フォト関連市場 大手



業務用木製家具 大手



半導体用フォトマスク大手



投資用アパート販売 国内大手



オフィスコーヒーサービス
パイオニア



精密加工技術グローバルニッチ



国内最大規模のIT人材事業者



国内最大の動物病院グループ



大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター

5号



血液浄化関連製品の開発・製造・販売



インターネットによる総合ゴルフサービスの提供

投資・Exit状況

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
I		封入封緘機メーカー	Exit	Exit
		世界的パリコレブランド	Exit	投資中
	SHICATA CO.	女性靴OEM	Exit	Exit
		TVCM制作事業	Exit	-
		住宅賃貸斡旋	Exit	-
		光部品市場グローバルニッチ企業	Exit	Exit
II		マルチブランド、高集客居酒屋チェーン	Exit	-
		くさび形足場の製造・販売	Exit	-
		低価格帯ネイルサロン	Exit	Exit
		低価格帯カット事業	Exit	投資中
		第3極最大手キャリア	Exit	Exit
		世界最大級のクロマグロ養殖場	Exit	-
		大手レディースアパレル	Exit	投資中
		ウィッグ等の毛髪関連事業	投資中	-
		車載用サーミスタ製造	Exit	Exit
		ダイレクトマーケティング事業	部分Exit	投資中
III		RPAを中心としたITプロ集団	Exit	Exit
		肥料/エチレンプラントの開発	投資中	投資中

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
III		独立系肥料メーカー	Exit	Exit
		自販機・冷蔵ショーケース製造・販売	投資中	投資中
		ベルトコンベア部品製造・販売	Exit	投資中
		システムインテグレーター	部分Exit	部分Exit
	T-Garden	カラーコンタクト企画販売	Exit	Exit
		ブライダルリング事業	部分Exit	投資中
IV		新品・中古カメラの小売	投資中	投資中
		インテリア・コントラクト家具の企画・製造	投資中	投資中
		半導体用フォトマスクの製造及び販売	投資中	投資中
		投資用アパートの開発・販売	投資中	投資中
		オフィスコーヒーサービス事業	投資中	投資中
		精密機器の製造及び販売	投資中	投資中
		ソフトウェア関連事業	投資中	投資中
		動物病院グループ	投資中	投資中
		大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター	投資中	投資中
		血液浄化関連製品の開発・製造・販売	投資中	投資中
V		インターネットによる総合ゴルフサービスの提供	投資中	投資中

本日のアジェンダ

1. 2025年2Qの実績
2. 収益の3本柱について

Appendix



1

2025年2Qの実績

投資と回収の双方でアクティブに



4号投資

2025年1月

日本有数の鉄骨ファブリーケーターへの資本参加

旭化成メディカル株式会社

5号投資

2025年4月

旭化成メディカルの血液浄化事業に資本参加



3号回収

2025年6月

スタンダード市場上場に伴う売出し



5号投資

2025年6月

ゴルフダイジェスト・オンラインの公開買付け開始
(7月3日に完了)

不動産投資もアクティブ

不動産投資ファンド1号による投資：取得物件

賃貸住宅3物件

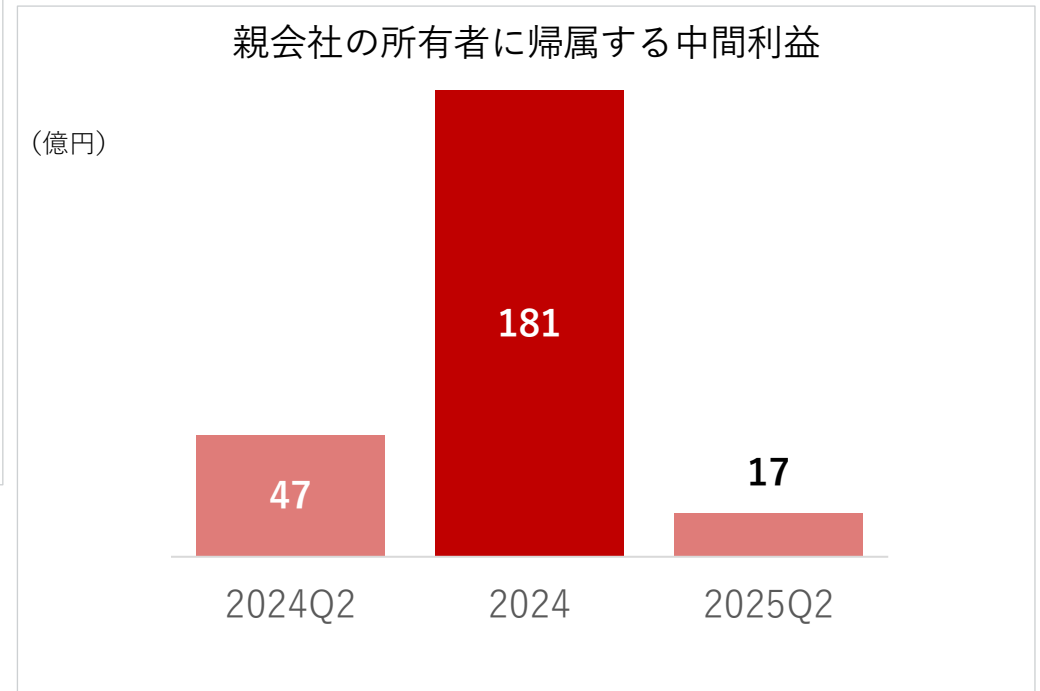
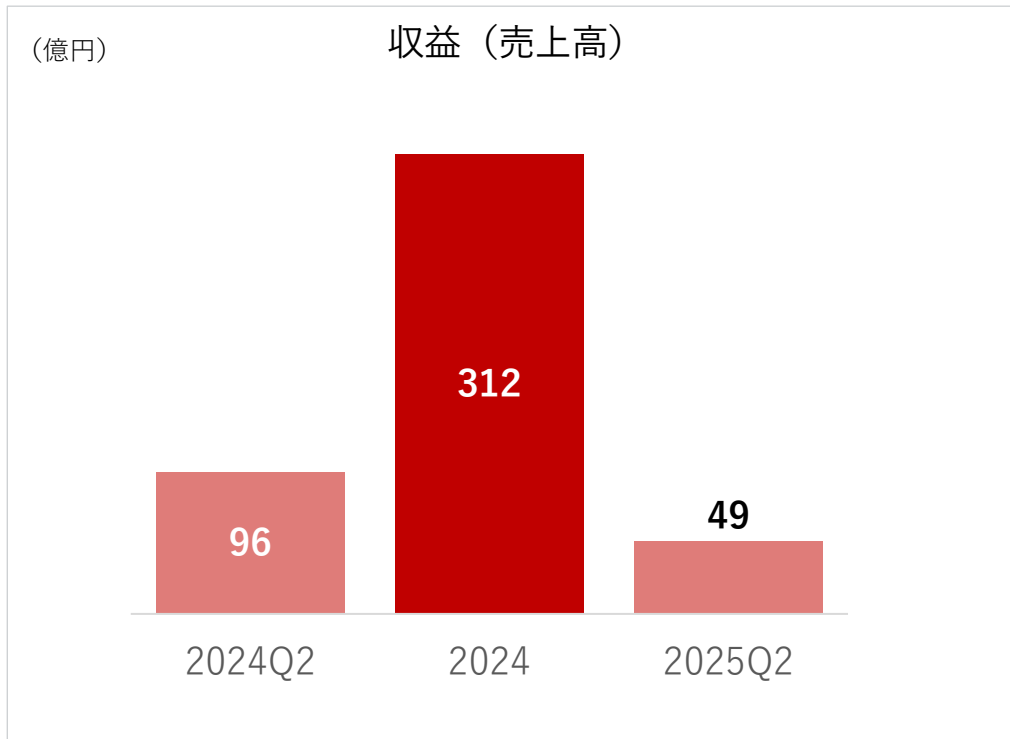


ホテルへのコンバージョンを目的としたオフィスビルの取得



収益・利益の推移

主に公正価値減少による影響で収益・利益は前期比で減少（詳細は事項）



収益・利益の主な増減要因

(億円)

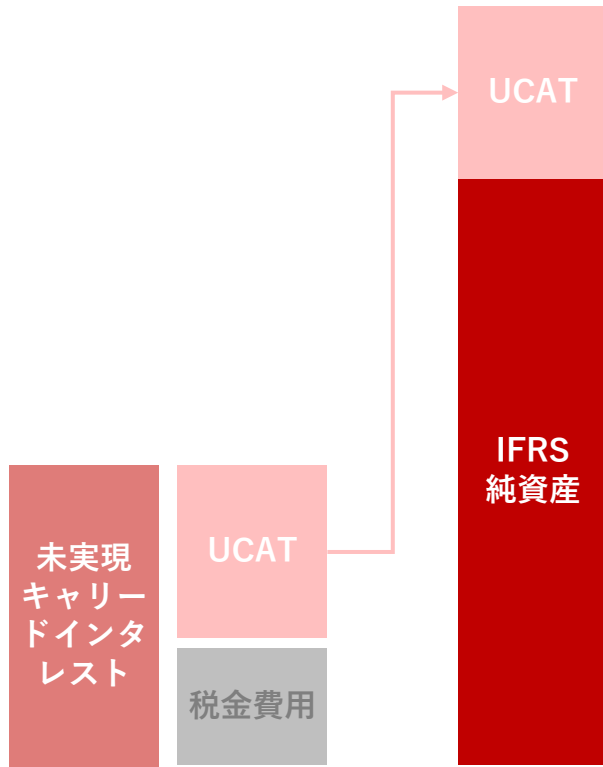
		2024Q2	2025Q2	YoY	主な増減要因
収益	投資収益総額 (公正価値変動等)	59	△2	△61	<ul style="list-style-type: none"> 足元の業績が調整局面にある投資先もあり、全体として公正価値減少
	リカーリング	18	38	+20	<ul style="list-style-type: none"> 5号ファンドシリーズの投資期間開始による寄与
	実現CI	18	13	△5	<ul style="list-style-type: none"> 各期のExit状況による変動
	合計	96	49	△47	
親会社の所有者に 帰属する 中間利益		47	17	△31	<ul style="list-style-type: none"> 防衛特別法人税の創設により実効税率が変更。繰延税金負債を新たな実効税率で計算したことにより、追加的に法人税等調整額が発生

経済収益ベース純資産の着実な成長を目指す

フレームワーク

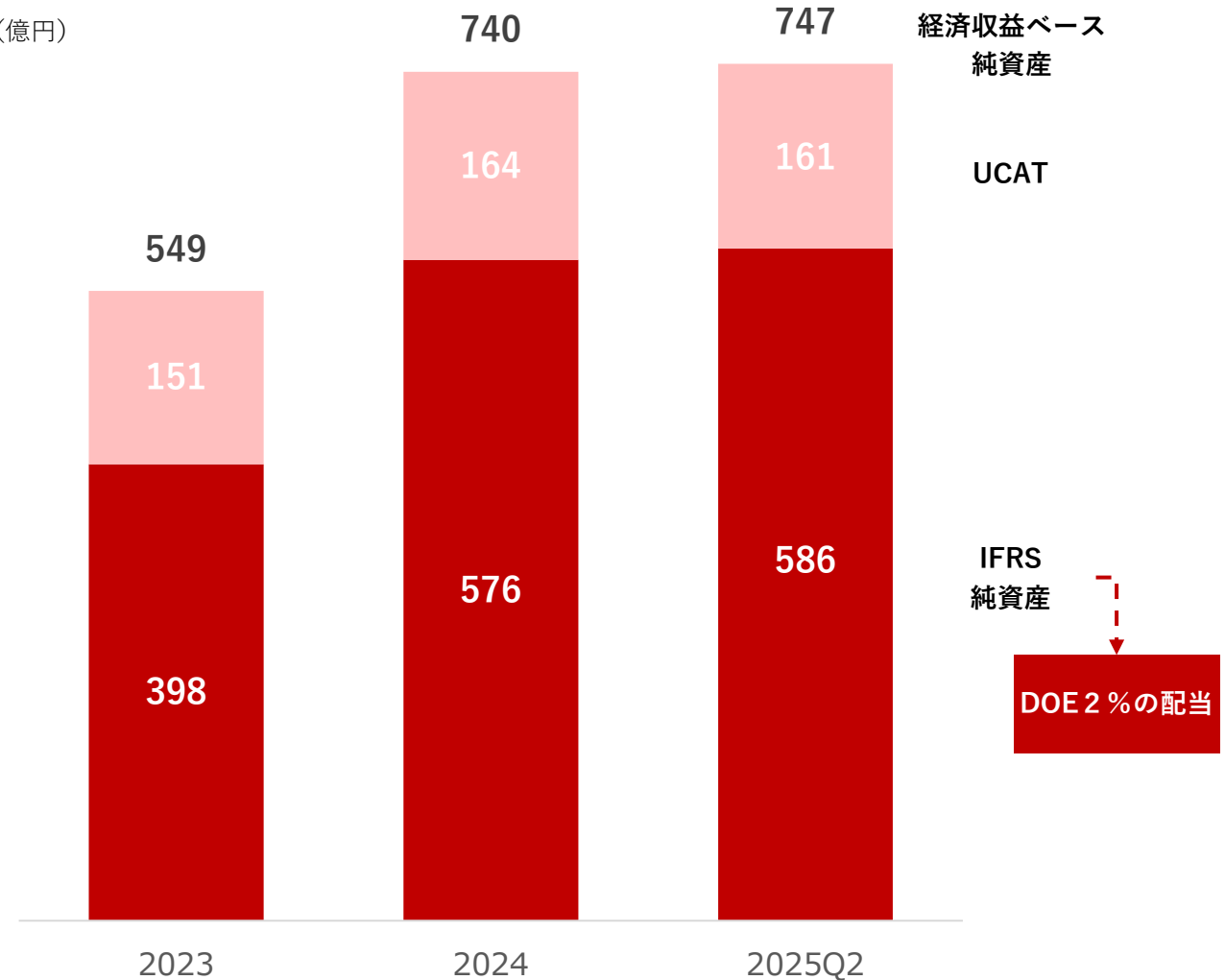
UCAT : 未実現キャリート
インタレスト (税引後) ⁽¹⁾

経済収益
ベース純資産 ⁽²⁾



経済収益ベース純資産

(億円)



剰余金の配当

2025年12月期中間配当金は、7月取締役会にて当初予想通りの17円を決定

	決定額 (2025年12月期中間)	直近の配当予想 (2025年2月10日公表)	前期実績 (2024年12月期中間)
基準日	2025年6月30日	同左	2024年6月30日
1株当たり配当金	17円00銭	同左	12円00銭
配当金総額	575百万円	-	398百万円
効力発生日	2025年8月20日	-	2024年9月12日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(ご参考)	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末 (2025年6月30日)	期末 (2025年12月31日)	年間
配当予想	17円00銭	17円00銭	34円00銭
当期実績 (2025年12月31日)	17円00銭	-	-
前期実績 (2024年12月31日)	12円00銭	22円00銭	34円00銭



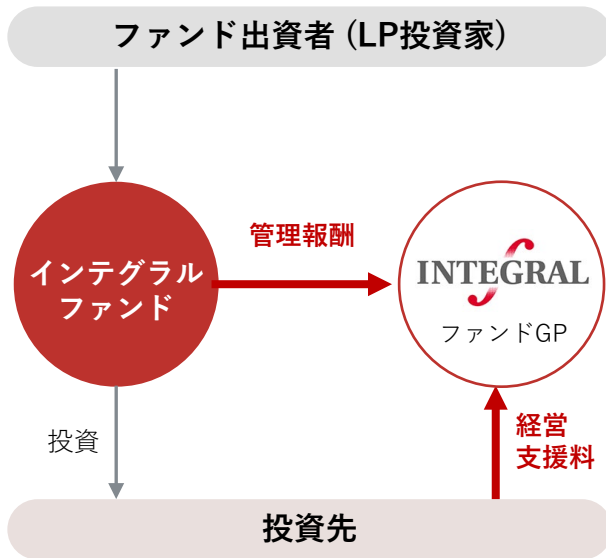
2

収益の3本柱について

収益の3本柱

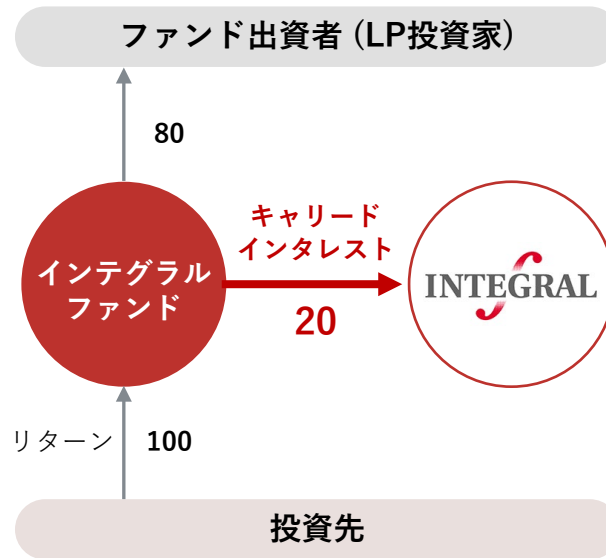
1

複数ファンドのFE AUMから
一定割合の管理報酬を
毎四半期毎に受領



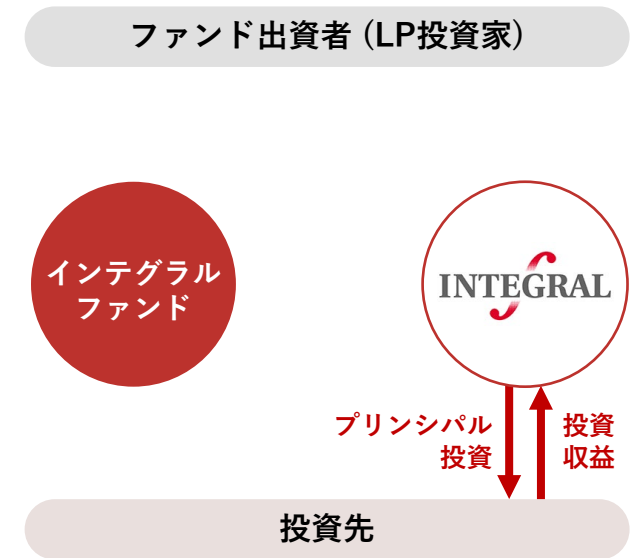
2

リターンの一定割合を受領

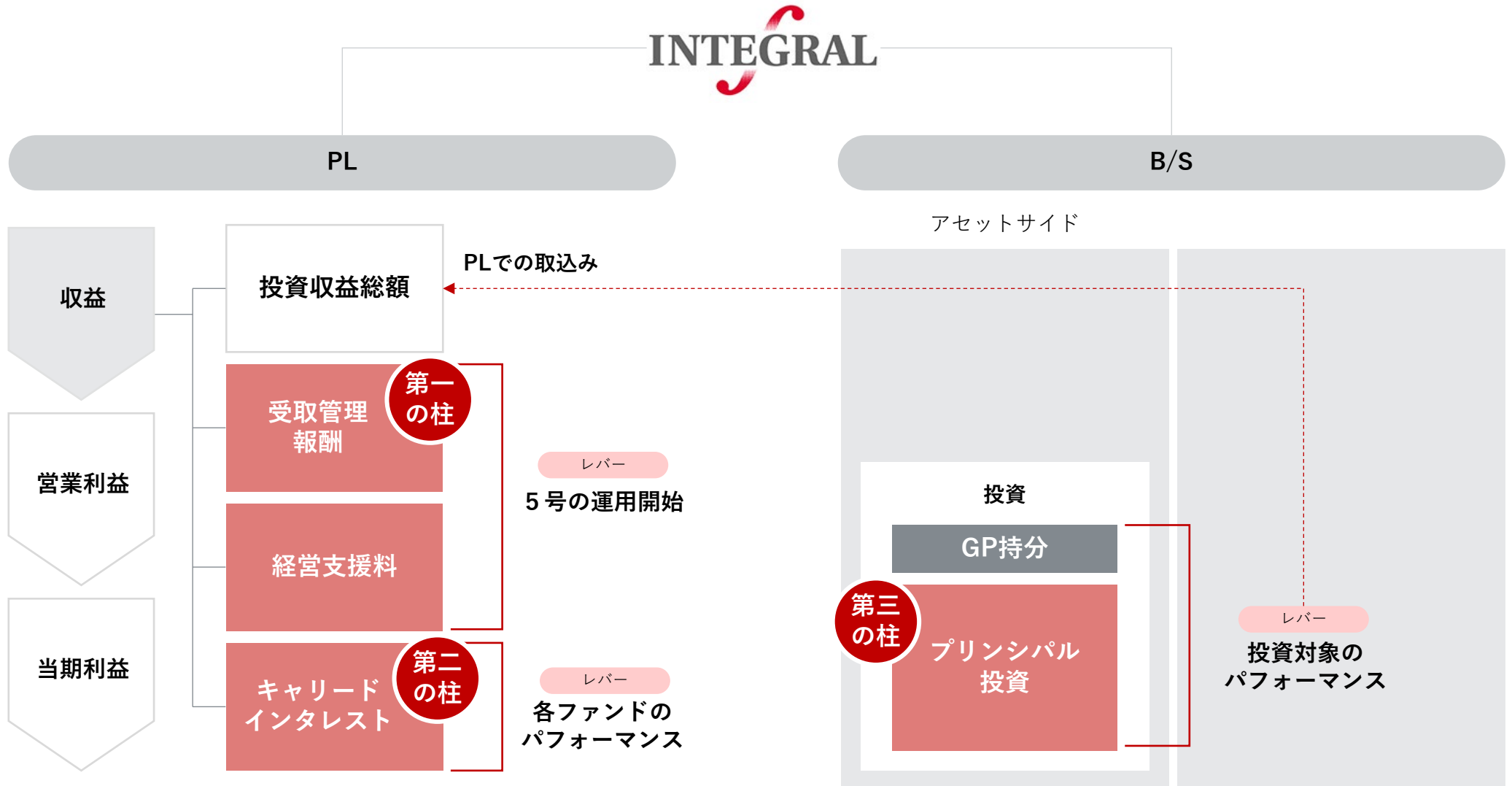


3

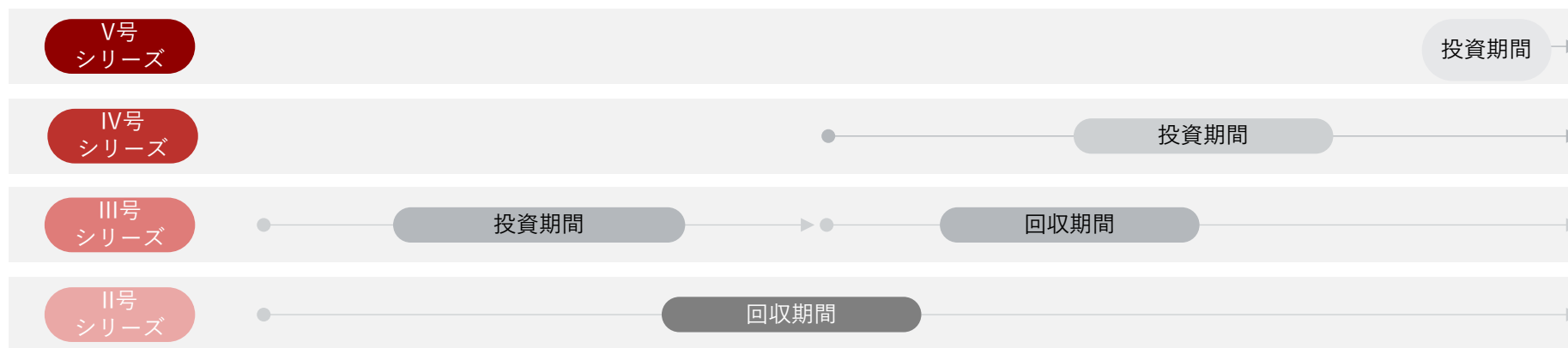
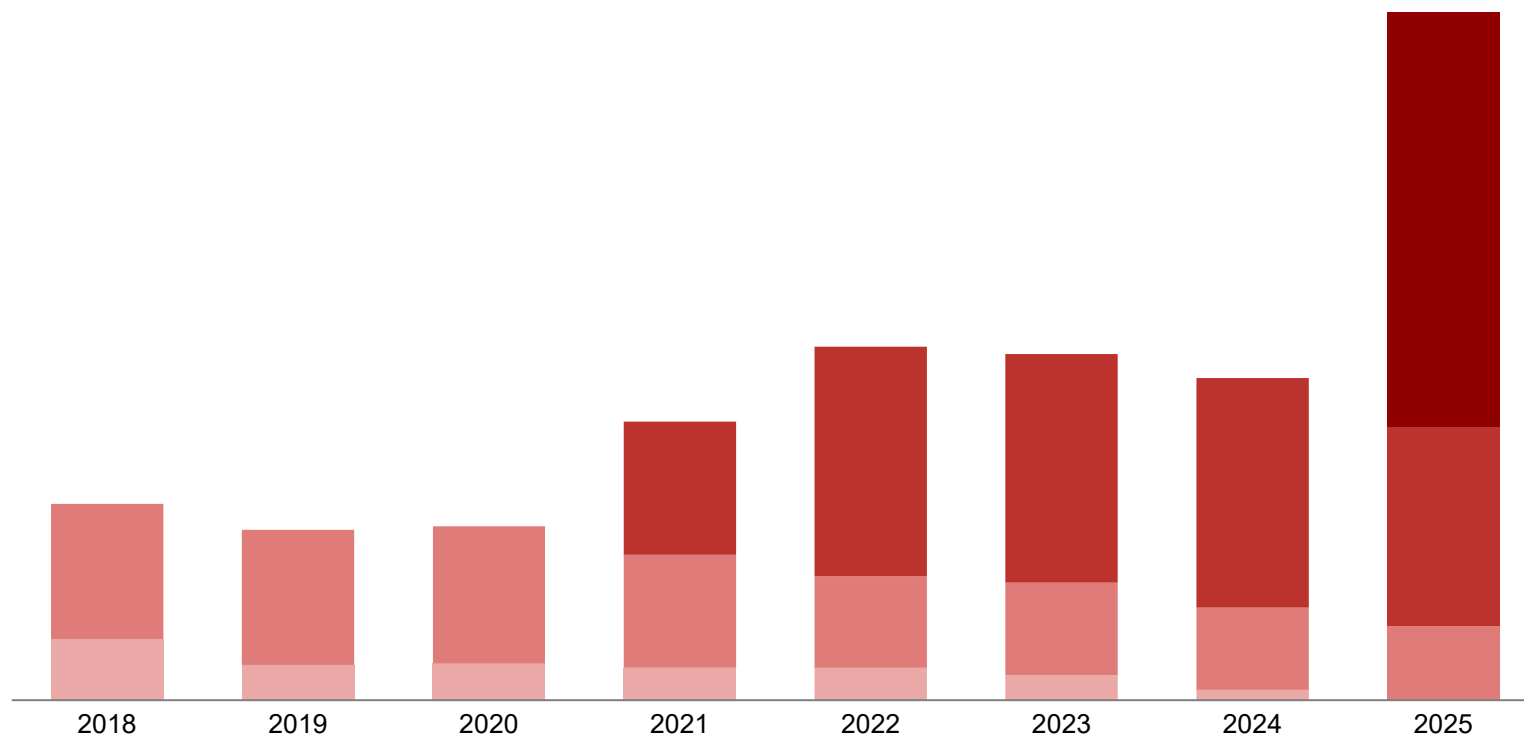
ファンド投資と自己資金を同時に出資。
インテグラルだけが提供する競争優位性



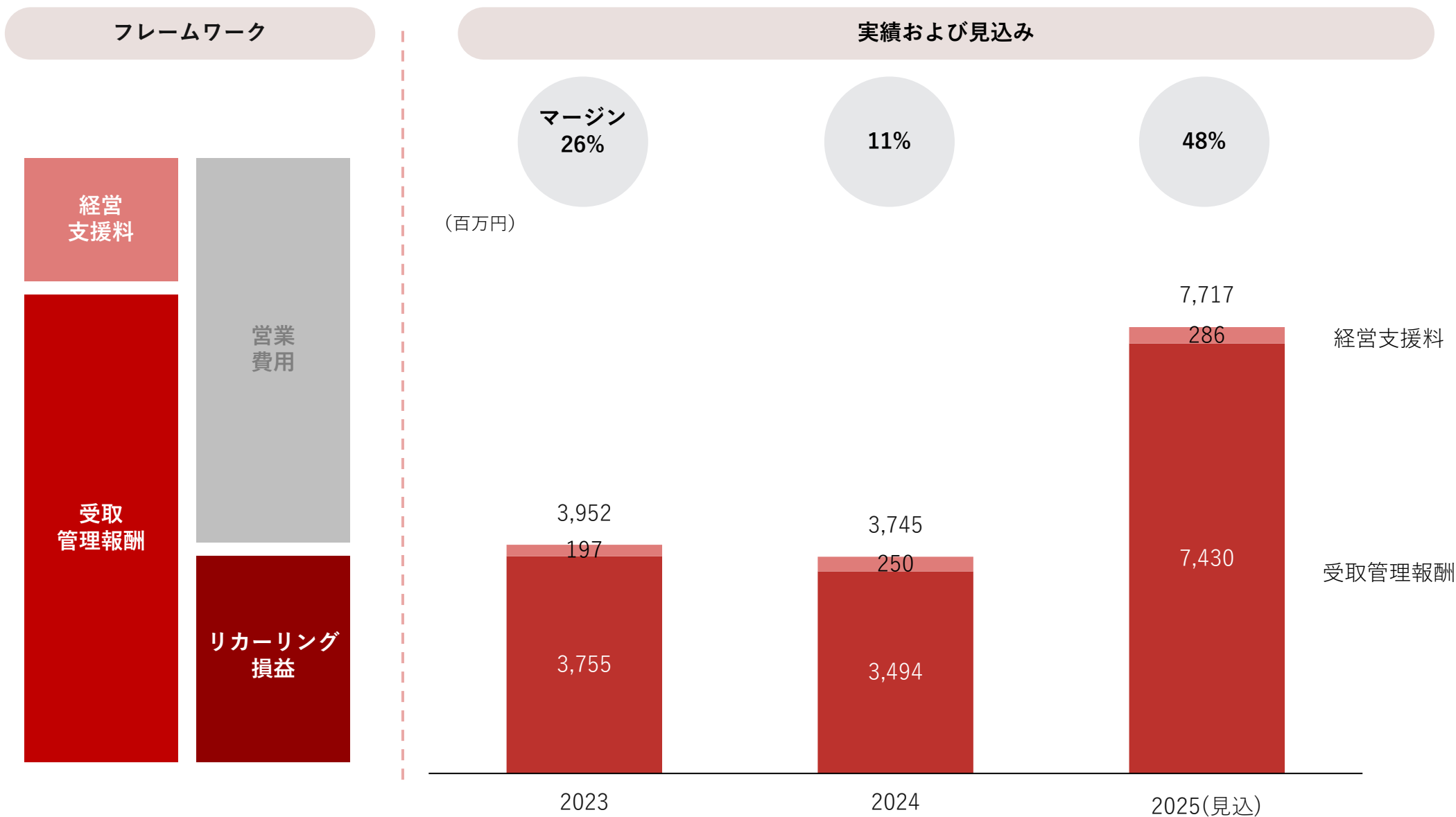
3本柱によるユニークな価値創造モデル



第一の柱① 管理報酬は積み重ねへ

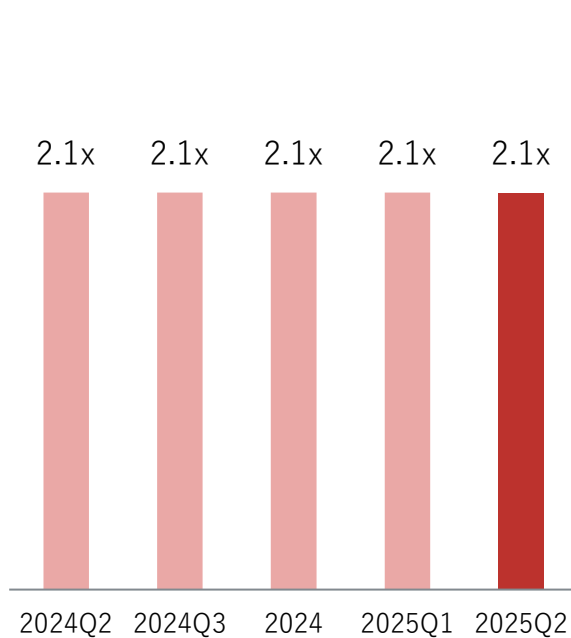


第一の柱② 良好なリカーリングマージン



第二の柱① 堅実なファンドパフォーマンス

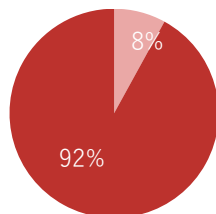
2号ファンドシリーズ



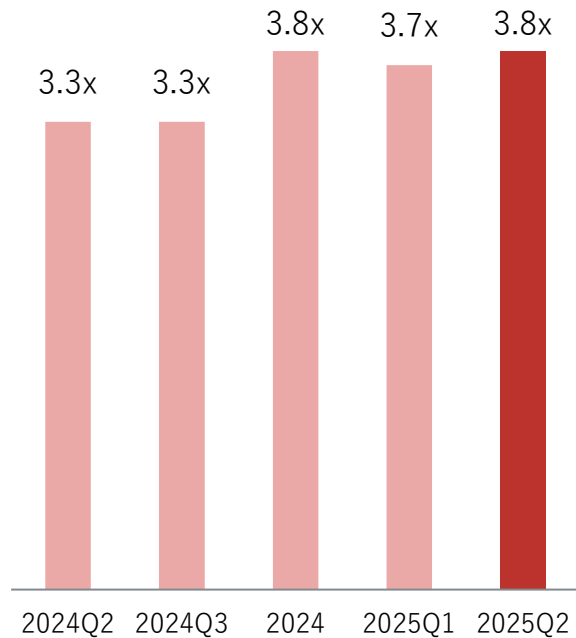
2014～

出資約束金額
442億円

■回収 ■NAV (未回収分)



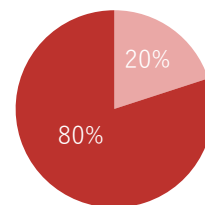
3号ファンドシリーズ



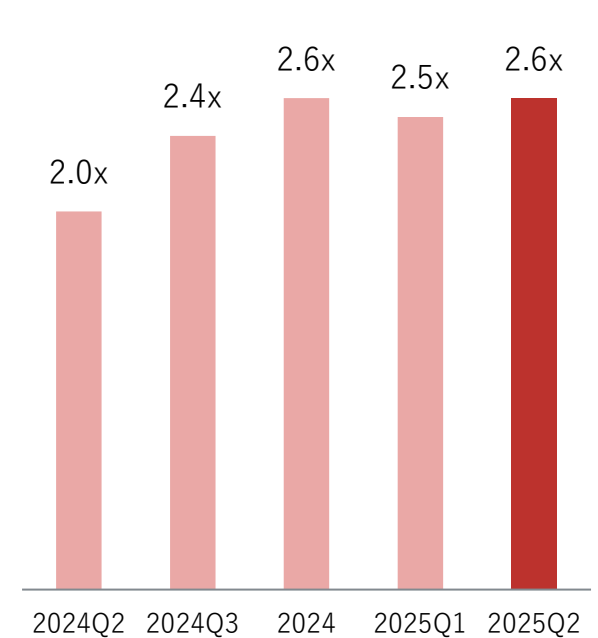
2017～

出資約束金額
730億円

■回収 ■NAV (未回収分)



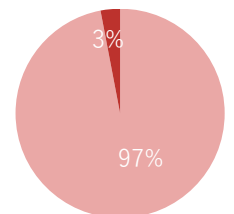
4号ファンドシリーズ



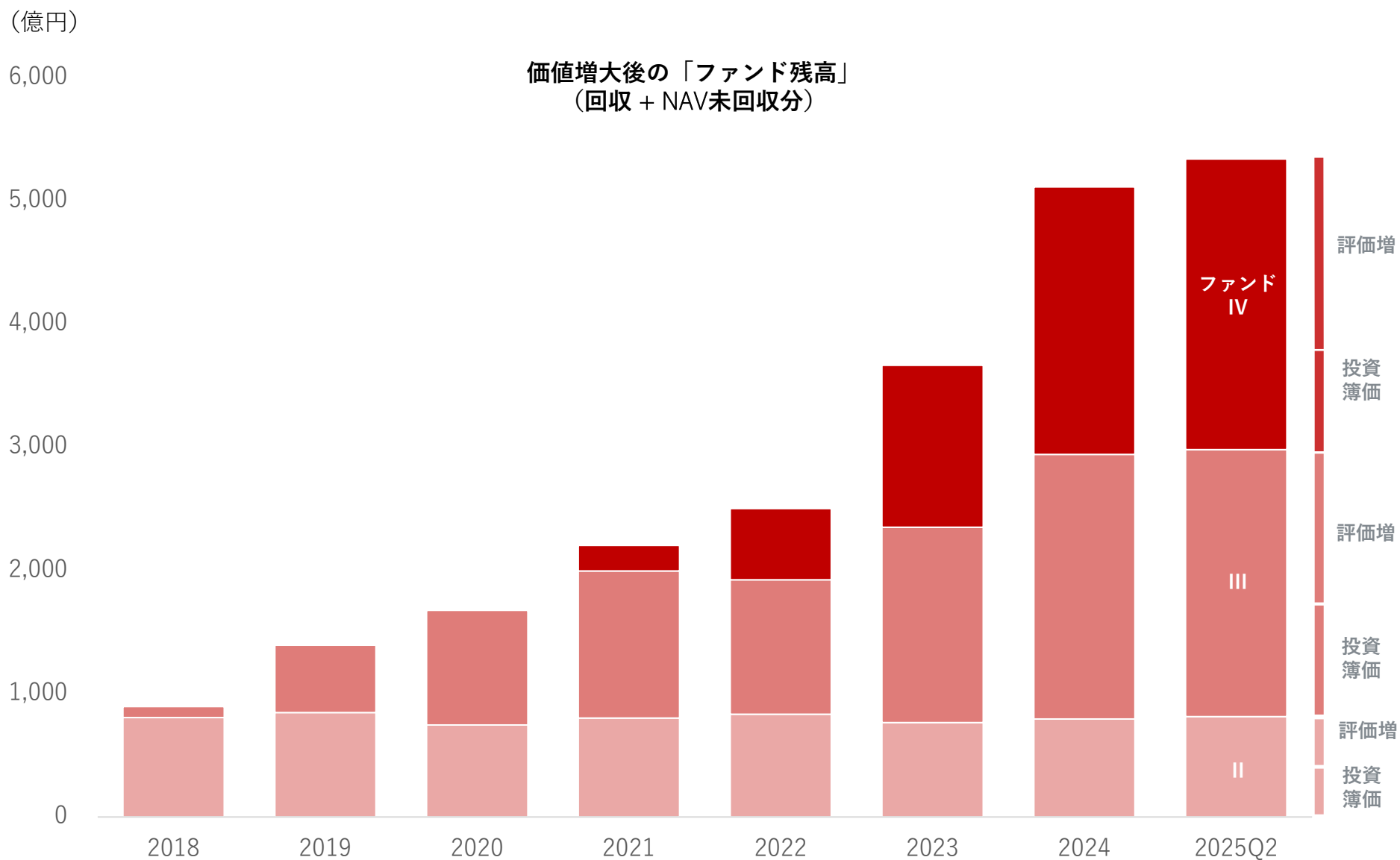
2021～

出資約束金額
1,238億円

■回収 ■NAV (未回収分)



第二の柱② キャリートインタレストの源泉



第二の柱③

「投資先繁栄」をまず第一に大切にし、結果としてリターンに

ストック残高がどれだけ成長しているか

「ファンド残高」が
価値増大している

源泉

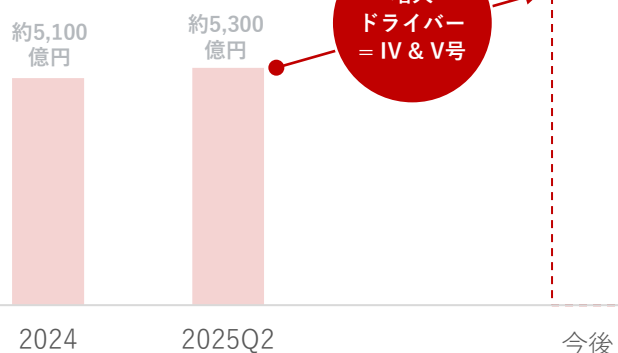
「キャリドインタレスト」が
増大している

源泉

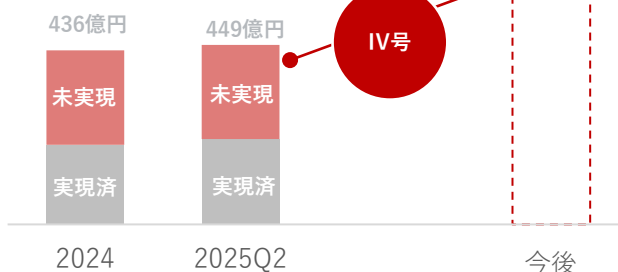
ストックからフローに

キャリドインタレスト
の将来の実現額を予想可能

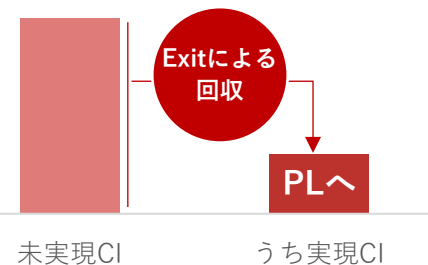
価値増大後の「ファンド残高」
= 回収 + 残存FV(フェアバリュー)



「キャリドインタレスト」が増大



実現キャリドインタレストが
生み出され、PL上で収益認識

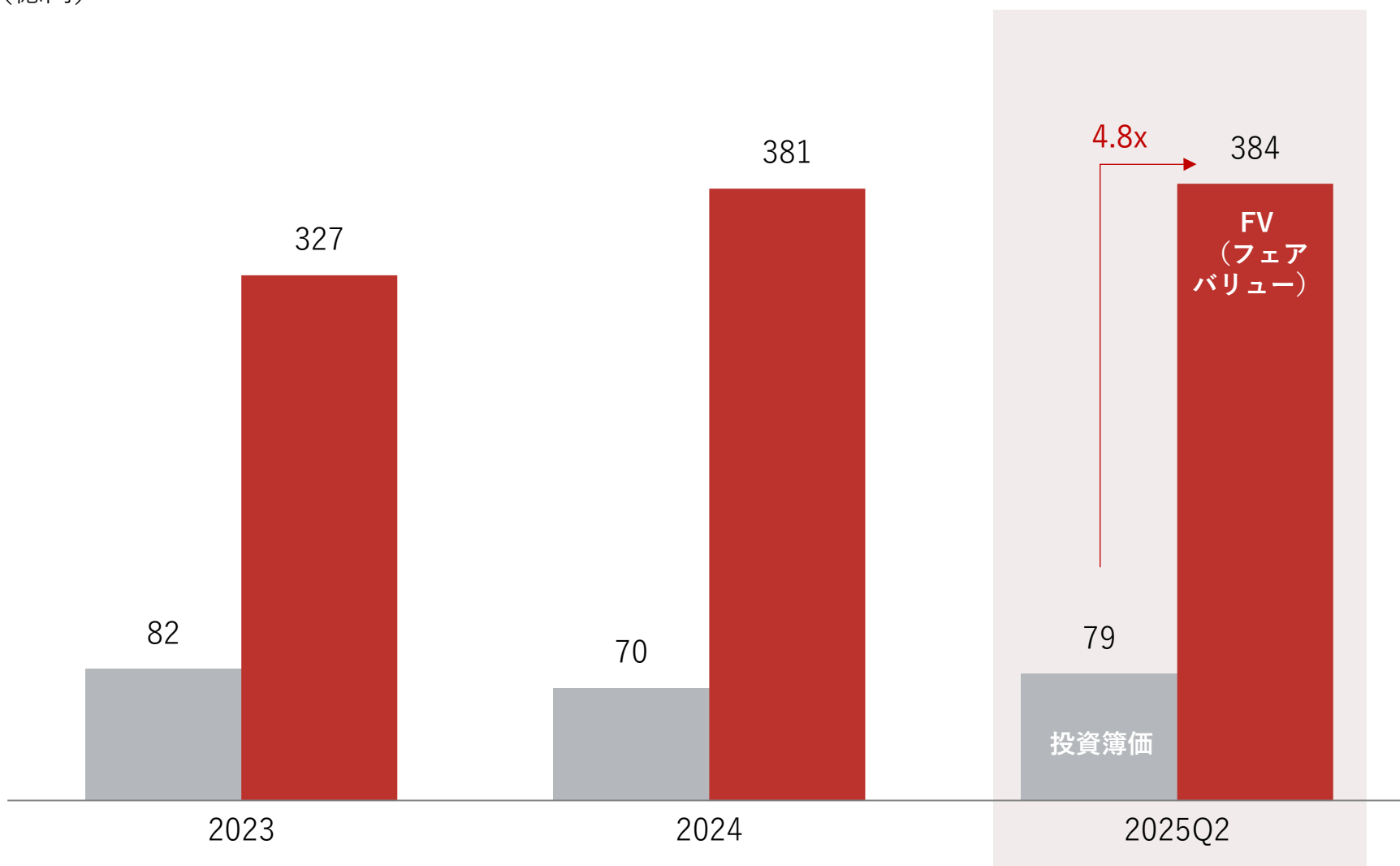


決算短信5ページでも主要なKPIとして開示

(億円)	2023/12	2024/12	2025/6
AUM	2,250	2,885	5,481
...			
未実現キャリド インタレスト			
2号ファンドシリーズ	20	6	8
3号ファンドシリーズ	144	80	65
4号ファンドシリーズ	53	150	161

第三の柱 外部環境の変化等によりFVにインパクト

(億円)



上半期の総括

- 1 — 投資活動が活発：3件の新規投資、1件の投資回収
- 2 — 業績が調整局面にある投資先もある一方で5号ファンドシリーズの運用開始により、リカーリング収益の受取管理報酬が大幅に増加
- 3 — マルチアセット展開も着実に進捗：
不動産投資事業は投資活動が活発、収益計上へ



Appendix



1



インテグラルについて

当社パートナー・CFO



山本 礼二郎

代表取締役パートナー / 創業メンバー



佐山 展生

パートナー / 創業メンバー



辺見 芳弘

取締役パートナー / 創業メンバー



水谷 謙作

取締役パートナー / 創業メンバー



早瀬 真紀子

取締役パートナー



二井矢 聡子

パートナー (弁護士)



後藤 英恒

パートナー



山崎 壯

パートナー



西岡 成浩

パートナー



澄川 恭章

CFO&コントローラー (公認会計士)

不動産投資ファンドのパートナー



江村 峻徳

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ミリア・レジデンシャル
- イデラキャピタルマネジメント
- アーバン・アセットマネジメント



中井 宏典

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- CBREインベストメントマネジメント
- 東京海上アセットマネジメント
- ヒューリック
- K J R マネジメント
- 東急



中原 健佑

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- オリックス
- キャピタランド・ジャパン
- M&G Real Estate Japan
- Phoenix Property Investors Japan

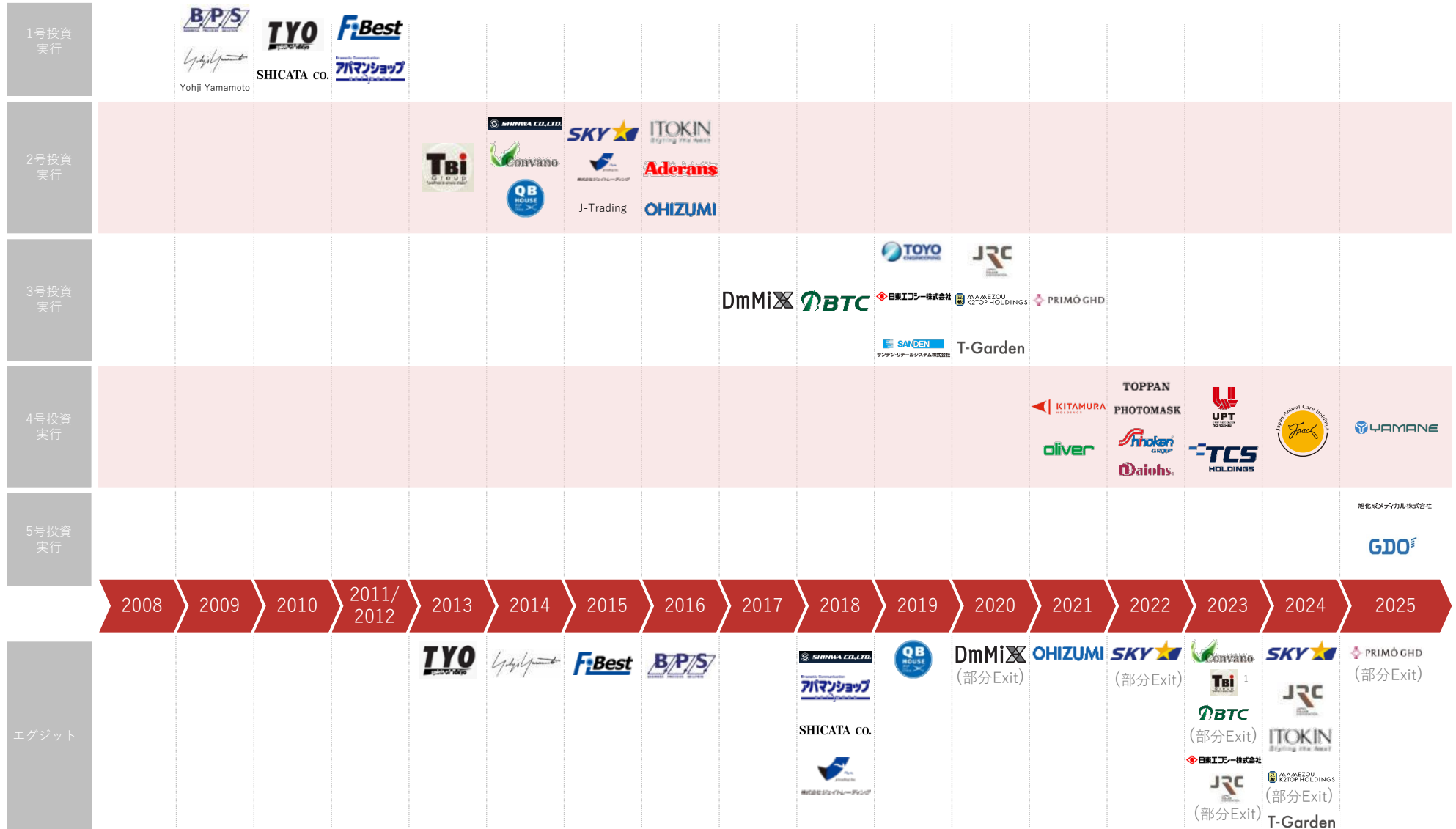


住谷 智宏

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ブラックストーン・グループ
- 大和証券SMBC

投資・Exit実績



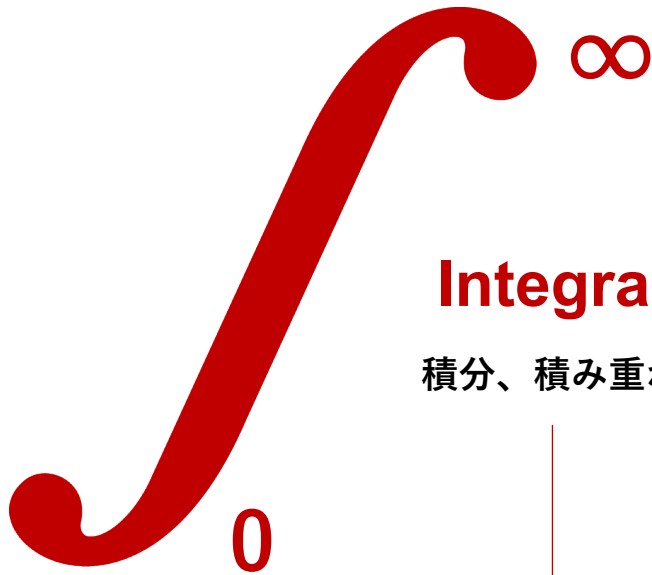


2

インテグラルの特徴

Our Mission

我々のミッション



Integral

積分、積み重ね

ハートのある信頼関係と
最高の英知の積み重ね



Trusted Investor

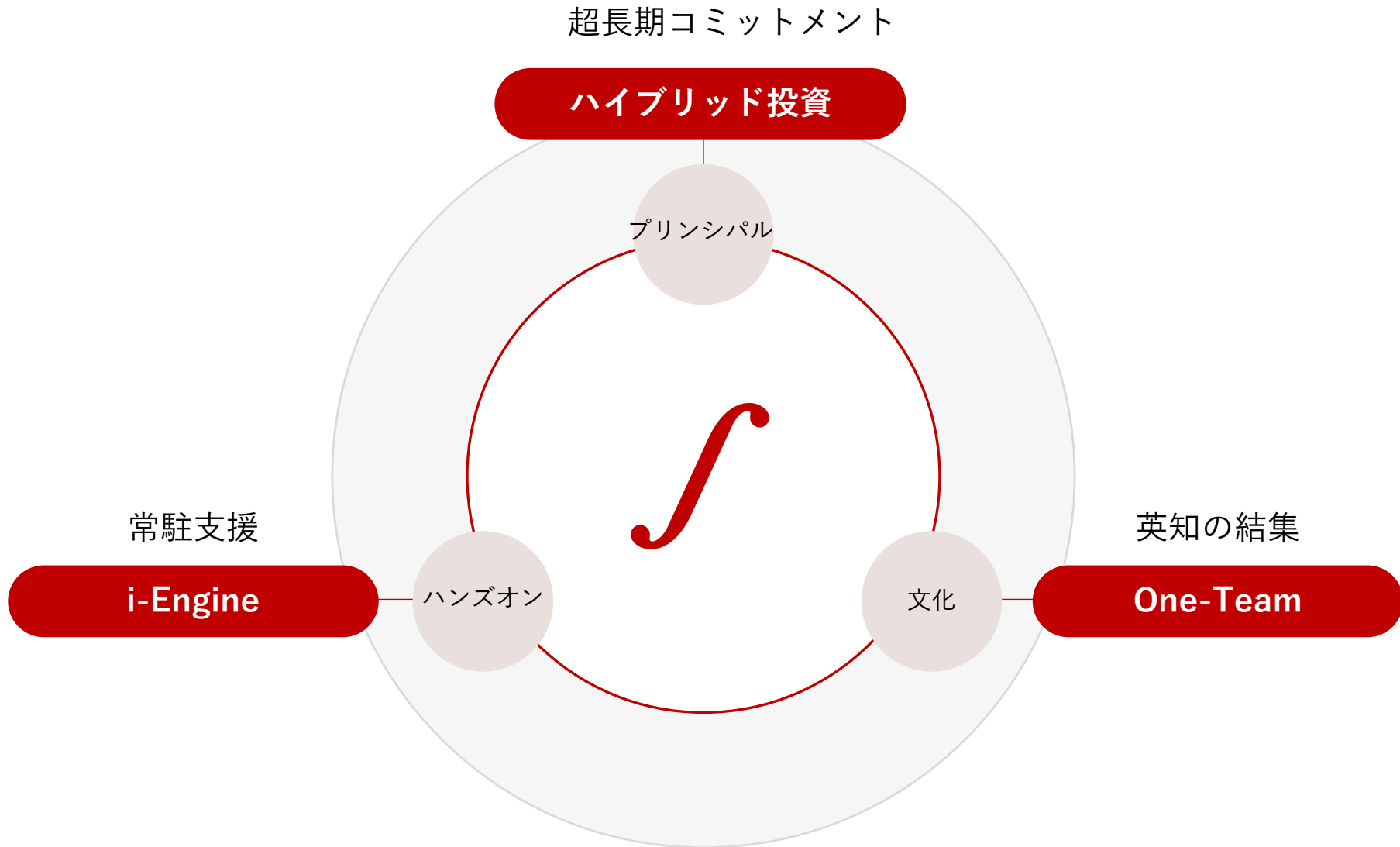
信頼できる資本家

経営と同じ目線・
時間軸



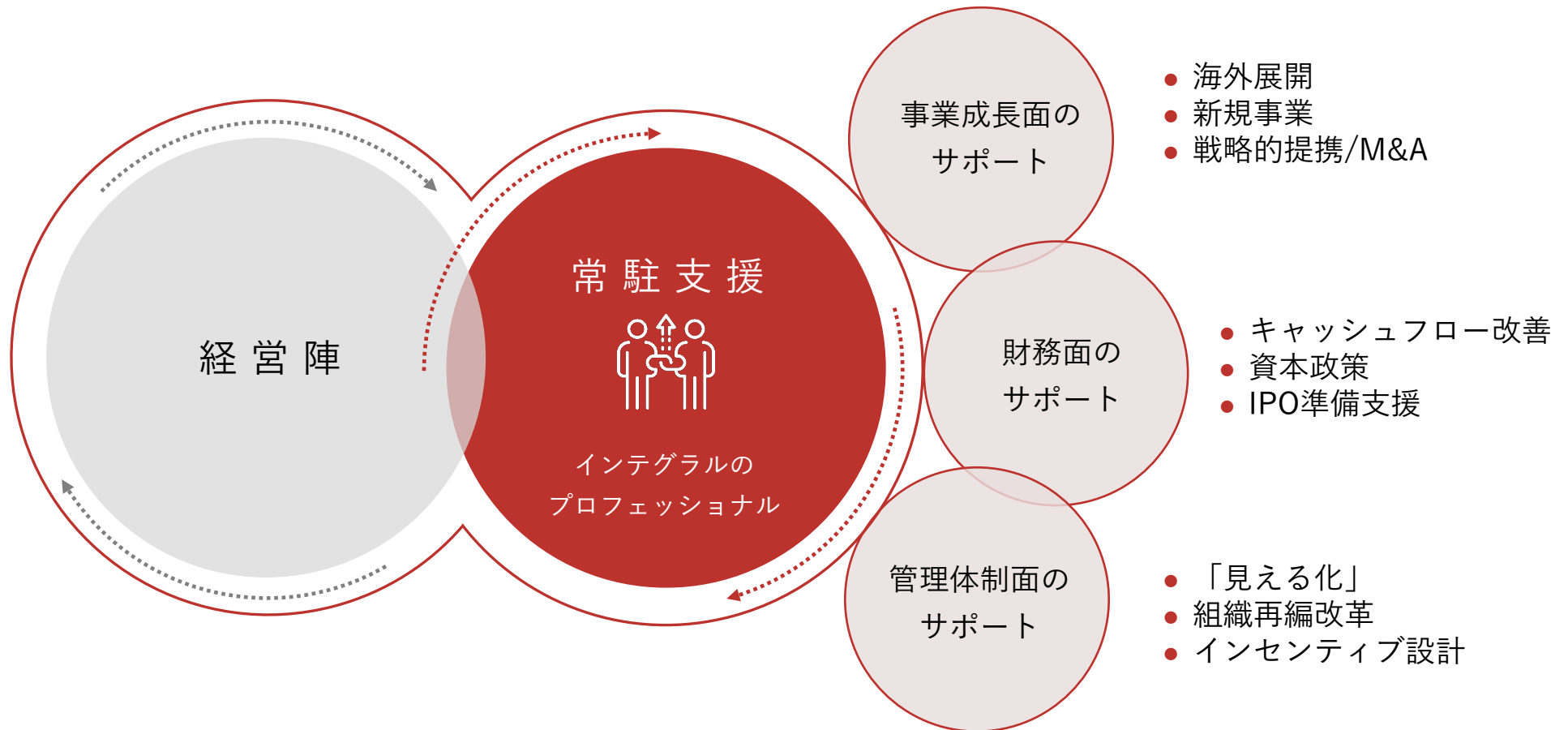
世界に通用する
日本型の企業改革を
実現

なぜインテグラルが差別化されているか



i-Engineとは

投資プロフェッショナルが常駐でハンズオン支援することで
社内体制強化を迅速かつシームレスに実行

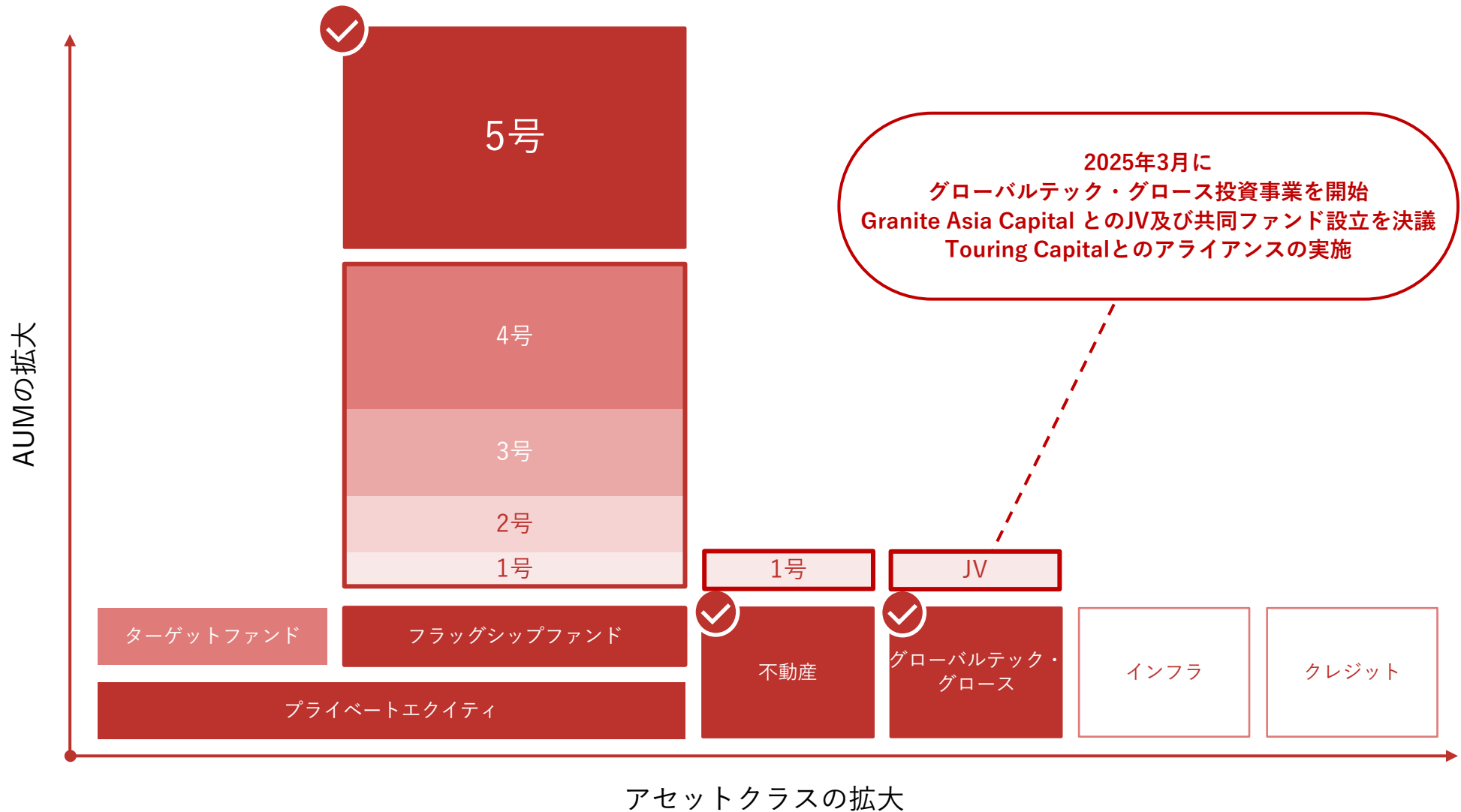




2

成長戦略

マルチアセット化の更なる推進





4

チャンスに満ちたビジネス機会

日本には広大なアップサイドが存在



ファンドの資金調達サイド

GDP全体に占めるPE関与割合

Japan

0.4%

United States

1.3%

United Kingdom

1.9%

Germany

0.7%

日本はユニークであり
需要と供給の
両方が成長へ

オルタナティブ資産への投資割合

GPIF (Japan)

1.5%

PFA for Local Govt.
(Japan)

1.0%

Federation of
municipalities (Japan)

1.0%

GPF (Norway)

1.8%

NPS (South Korea)

15.8%

CalPERS (US)

27.6%

CPPIB (Canada)

58.0%

NSSF (China)

14.0%

CalSTRS (US)

46.9%



ファンドの投資サイド

なぜ今が好機なのか？

事業承継

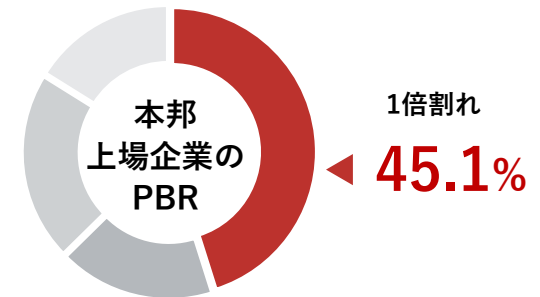
中小企業経営者の
70歳以上比率

25.5%

直近5年間の
事業承継M&Aの
増加率

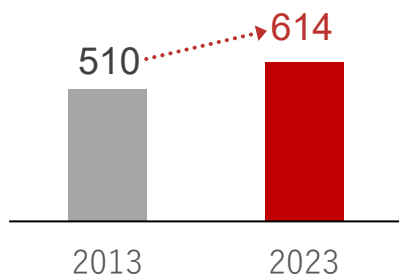
約2.4x

割安な株価評価

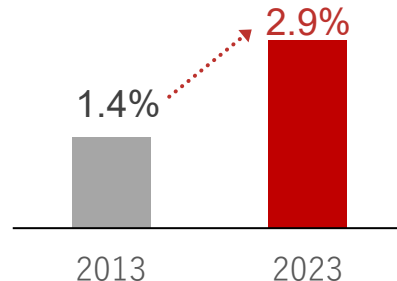


カーブアウト

カーブアウト案件数



うち、
PEファンド関与比率



アクティビズム

アクティビスト・
機関投資家による提案件数



同意なきTOBの件数



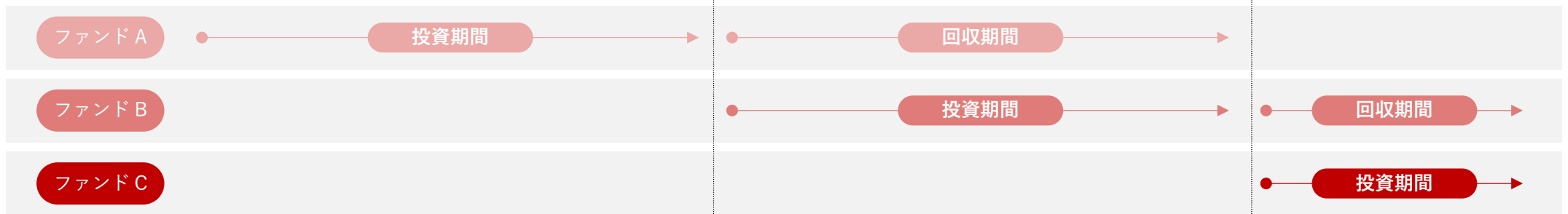
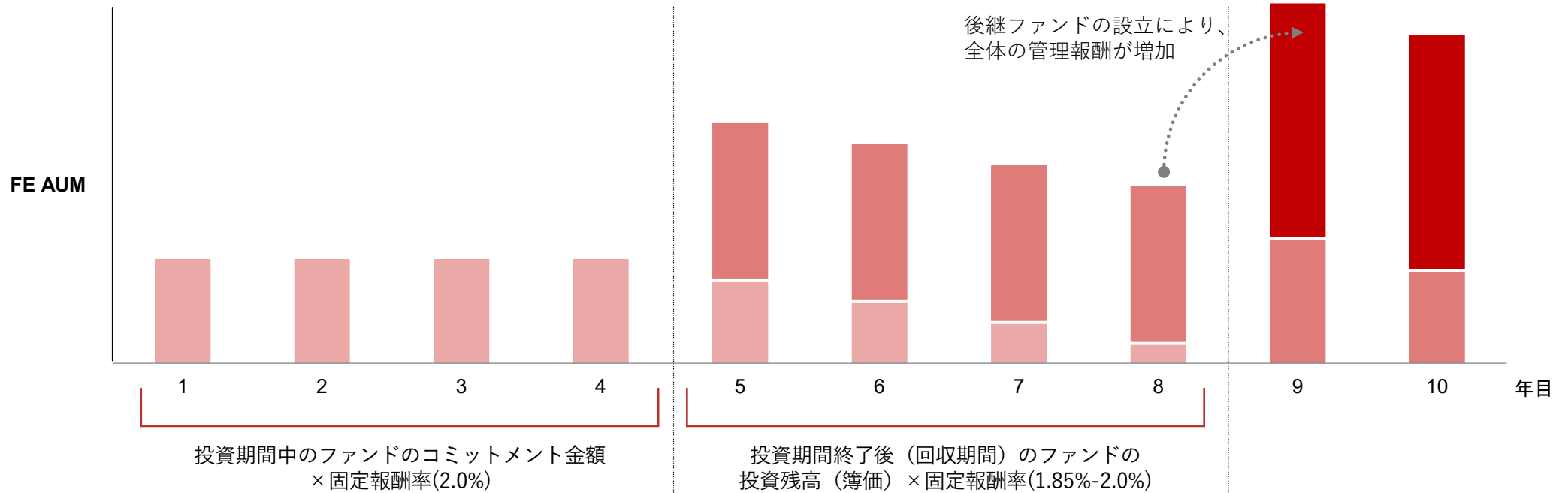


5

インテグラルの事業モデル

管理報酬が、企業価値向上の礎に

モデルイメージ¹

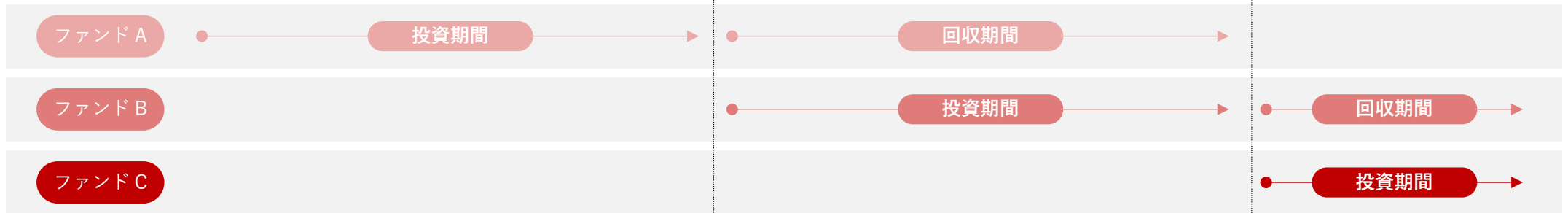
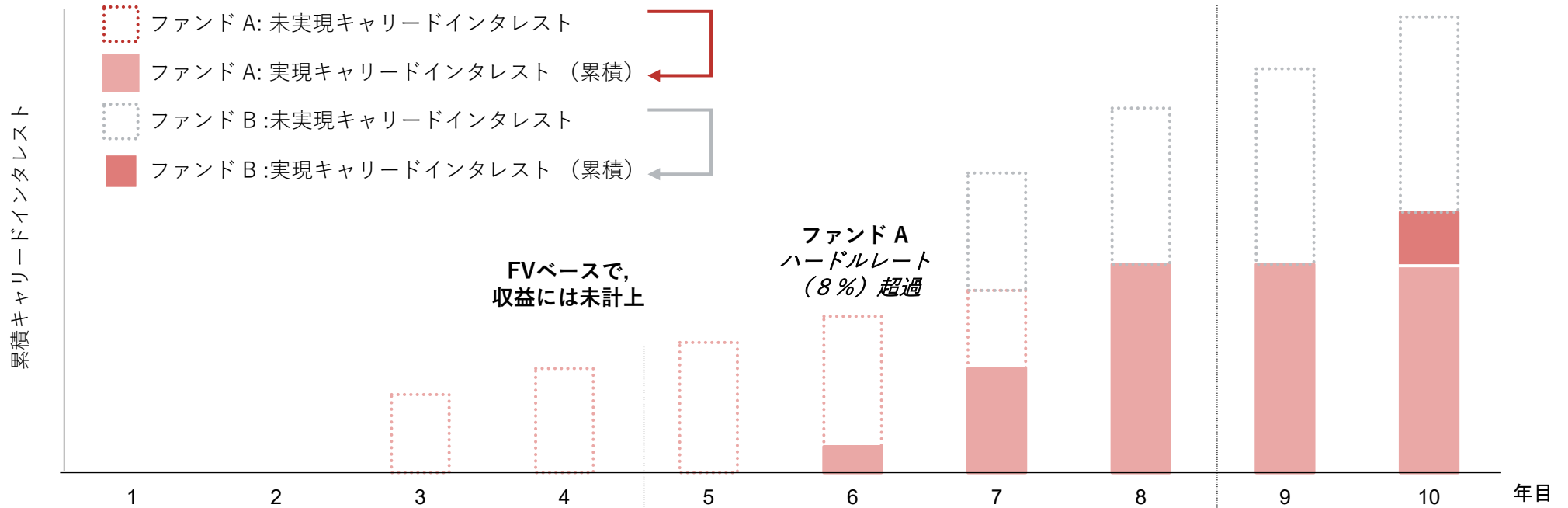


1. 前提条件：4年ごとに次号Fundを設立し、次号Fund毎にファンドサイズが1.5倍増加した場合の想定

ハードルレートを超過すると、キャリドインタレストが実現

モデルイメージ

ファンド B
ハードルレート
超過



キャリードインタレストの高い投資効率

リターンに関するモデルイメージ¹

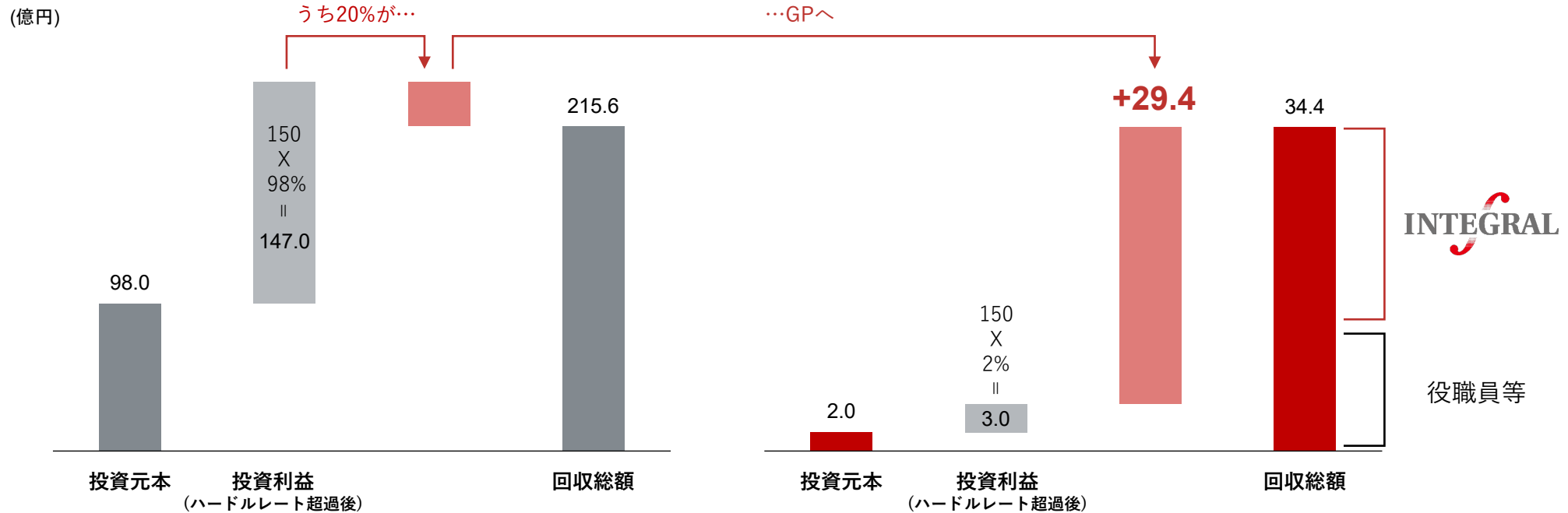
想定	投資額 (LP+GP)	100億円	GPコミットメント	2%
	投資期間	4年	ハードルレート	8%
	投資回収額	250億円	ハードル投資利益	36億円

LPのリターン

MOIC¹ 2.2x: IRR¹ 21.8%

GPのリターン

MOIC¹ 17.2x: IRR¹ 103.6%



1. 上記の前提に基づき算出されたNet MOIC / IRRを指す。Net MOIC / IRRとはそれぞれ、案件への投資実行額に対する、当該案件の回収額(未実現のキャリードインタレストを含まない。)から諸費用を控除したリターンに基づく割合と内部収益率を指す

ターゲットしていく各KPI

FE AUM成長率

FE AUM成長率
10-20%

Organic/inorganic
の双方で

資本効率性

5年平均ROE
約15%

DOE 2%

リカーリング収益マージン

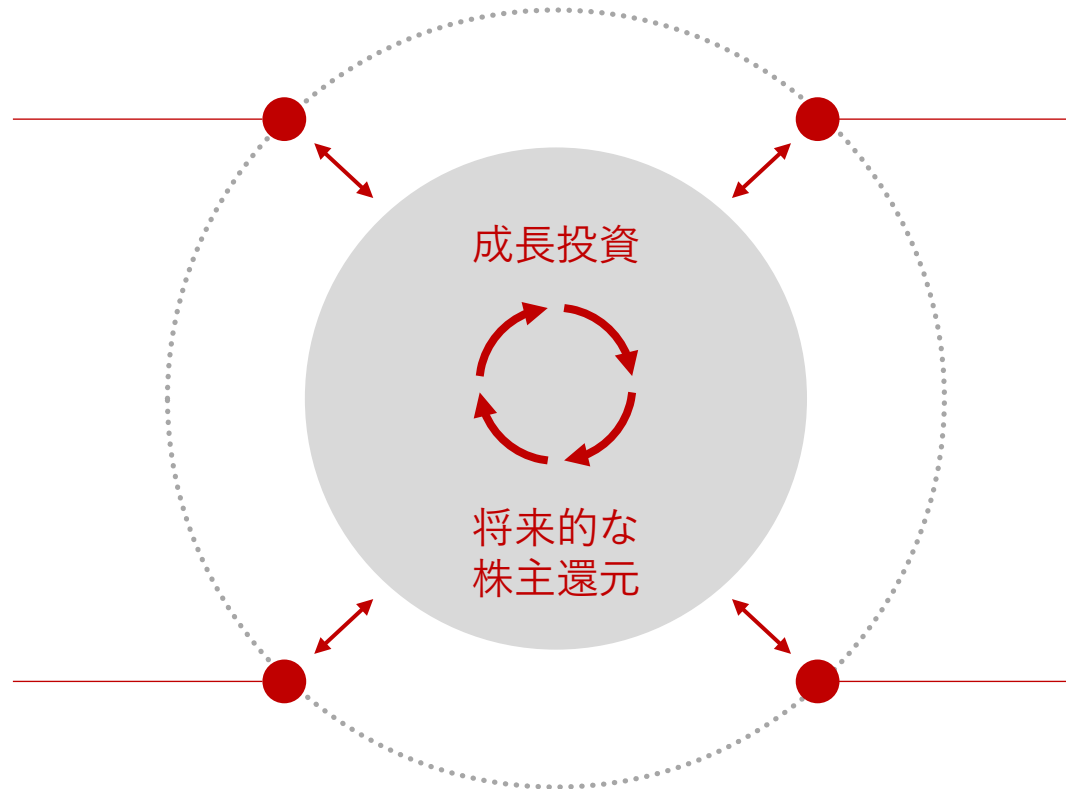
30-40%

適切なコスト管理による
水準の維持

プリンシパル投資リターン

MOIC
約3.0x

新規投資の呼び水だけでなく、
確かな経済的リターンの獲得





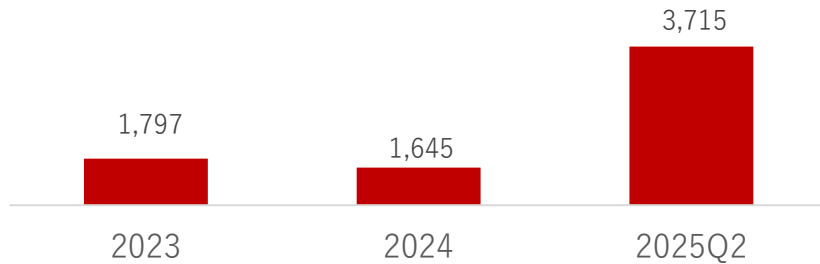
6

財務数值

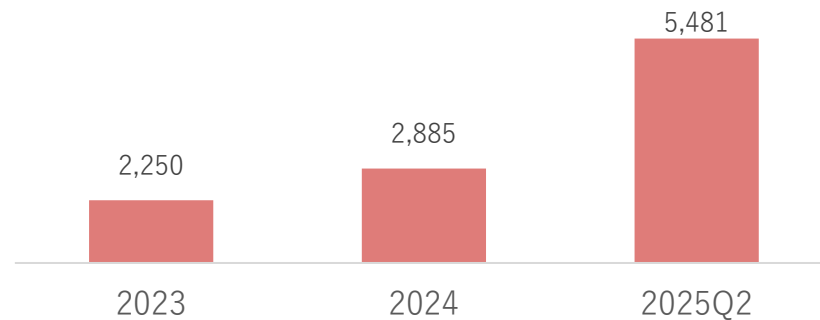
FE-AUM、AUM、ファンドFV

(億円)

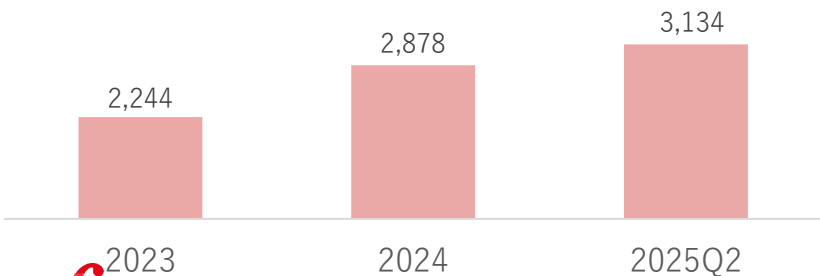
FE-AUM¹



AUM²



ファンドFV



(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズの出資約束金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズの投資残高

FE-AUM¹

(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズの出資約束金額
又は投資ポートフォリオのFair Value
のいずれか大きい金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズのFair value

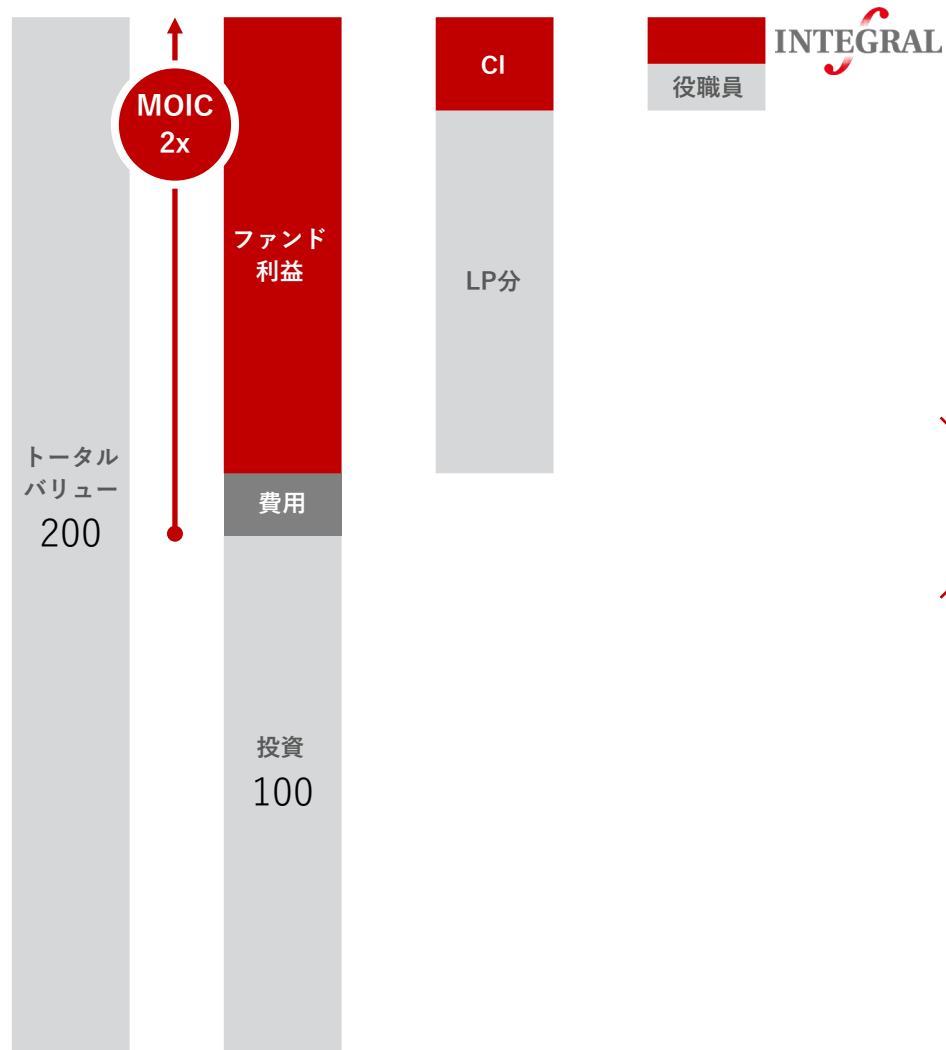
AUM²

2・3・4・5号ファンドシリーズの投資中案件のFair Value

ファンド毎の未実現CI

億円

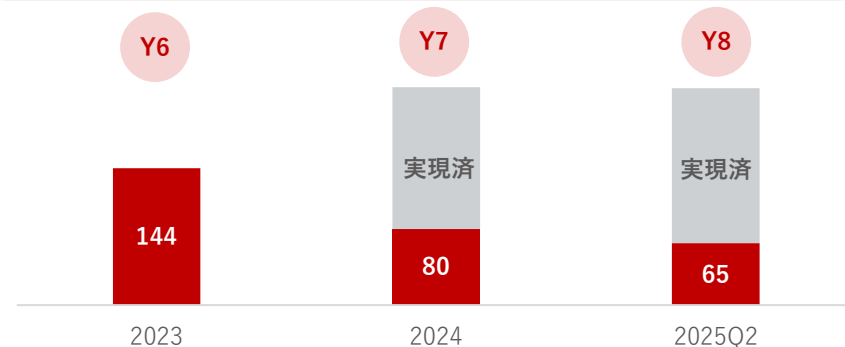
フレームワーク: MOICがCIの大きさに直結



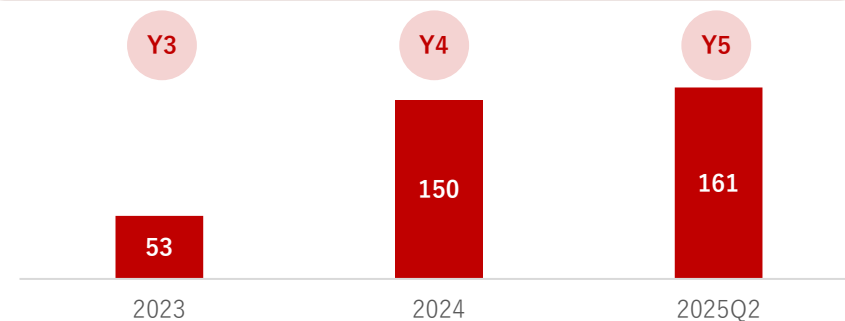
2号シリーズ



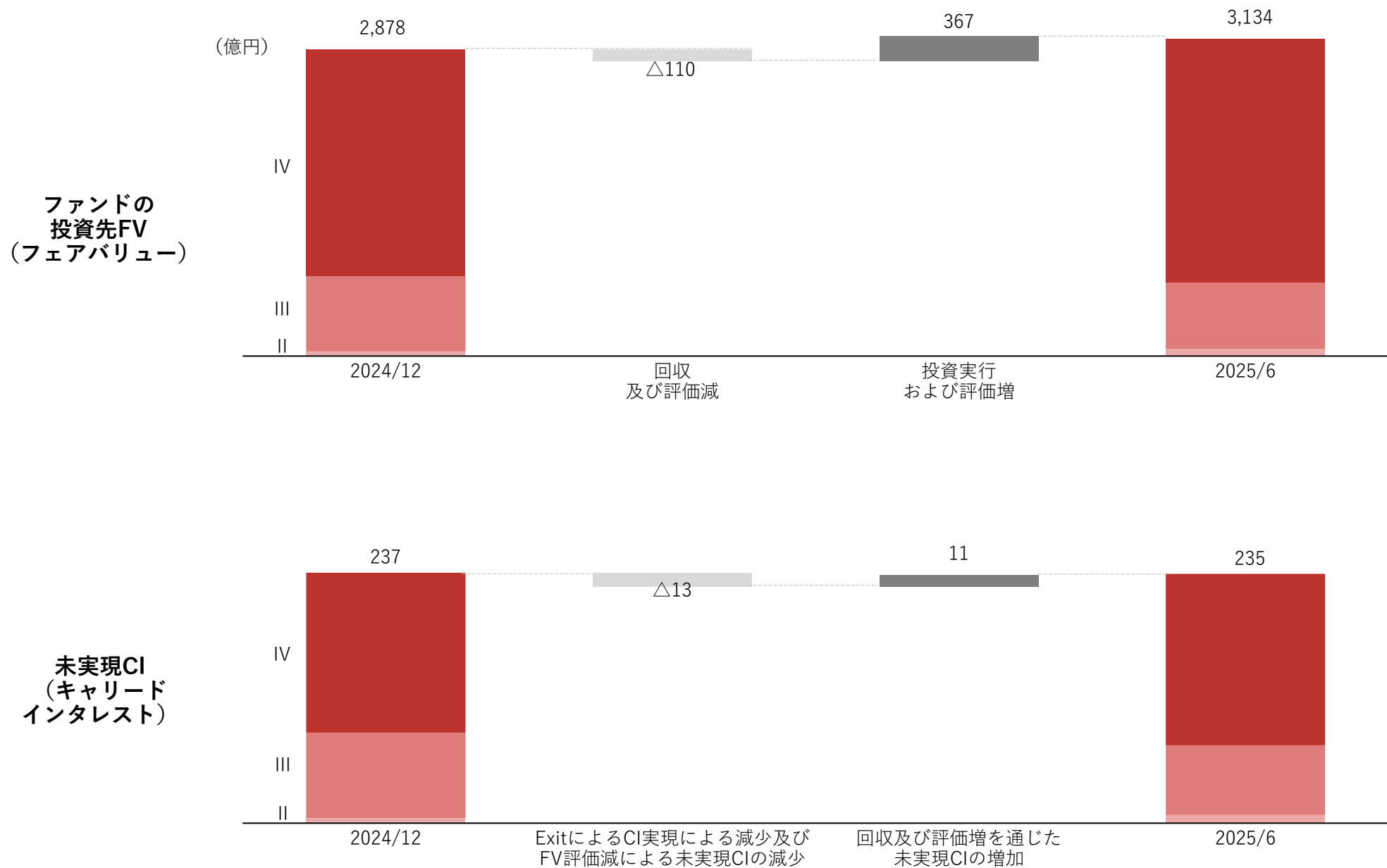
3号シリーズ



4号シリーズ

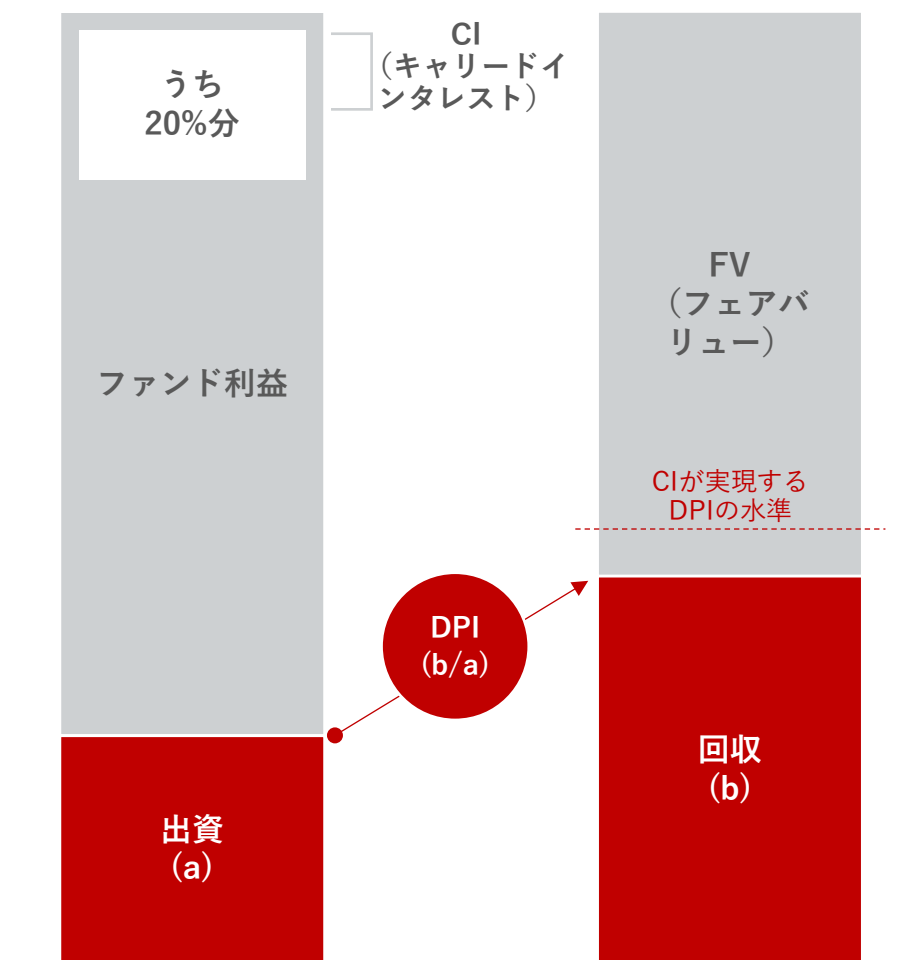


FVおよび未実現CI

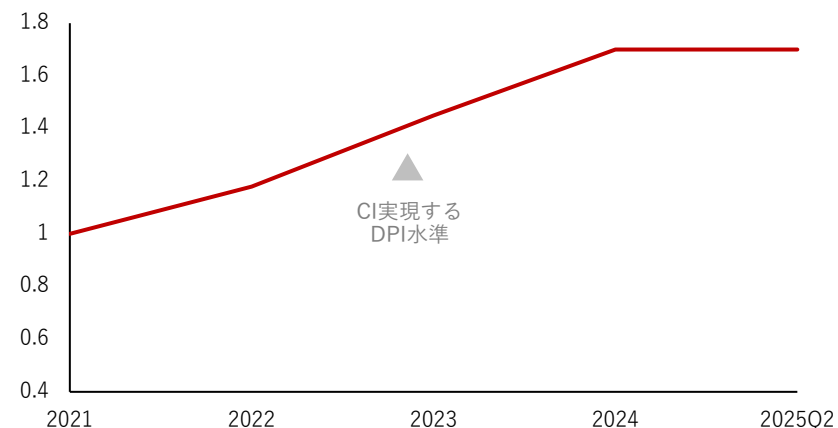


キャリドインタレストの先行指標（DPI）

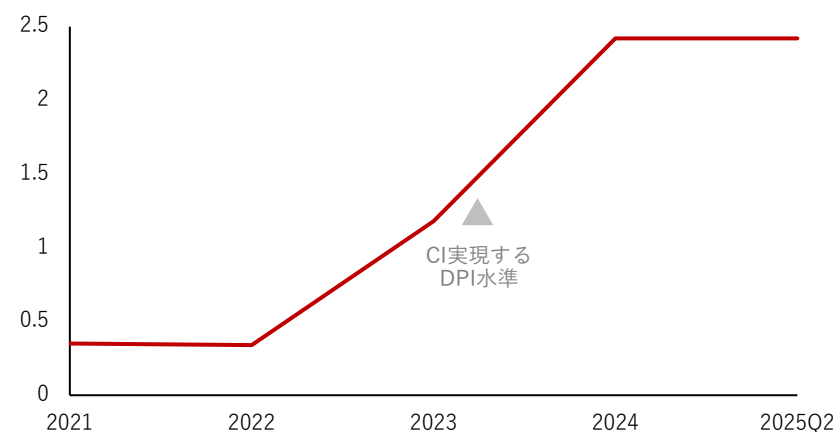
DPI (Distribution to Paid-In Capital)が先行指標に



2号シリーズ¹



3号シリーズ¹



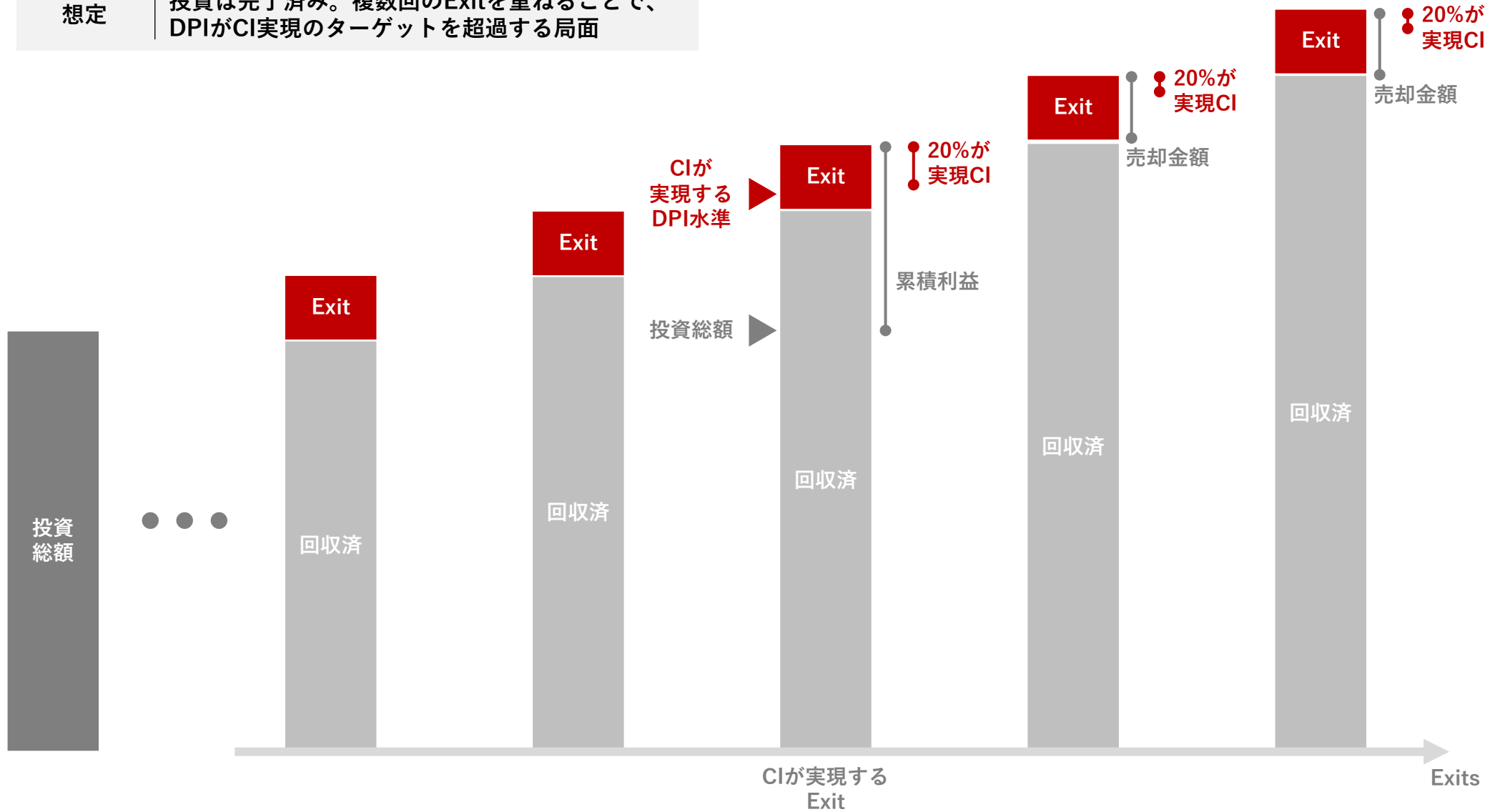
1. 支払済のCI (キャリドインタレスト) を考慮する前のDPI数値

DPIとCI実現

1ファンドにおけるモデルイメージ

想定

投資は完了済み。複数回のExitを重ねることで、DPIがCI実現のターゲットを超過する局面



主要財務数値

連結損益計算書

	2024年12月期 2Q	2025年12月期 2Q	2024年12月期 通期
投資売却による実現利益（損失）	-	0	1,200
ポートフォリオへの投資の公正価値変動	1,748	326	2,219
公正価値で評価している子会社の公正価値変動	4,221	△621	7,187
その他の投資収益	7	56	26
投資収益総額	5,977	△237	10,633
受取管理報酬	1,770	3,671	3,494
キャリドインタレスト	1,816	1,363	16,849
経営支援料	118	156	250
その他の営業収益	0	2	2
収益	9,683	4,955	31,230
人件費	1,111	1,374	2,731
その他販管費	1,726	690	2,480
営業費用	2,849	2,064	5,212
営業利益（損失）	6,834	2,890	26,017
金融収益	83	156	225
金融費用	109	154	257
税引前利益（損失）	6,808	2,893	25,985
税金費用	2,071	1,193	7,879
当期（四半期）利益（損失）	4,736	1,699	18,105

主要財務数値

連結財政状態計算書

	前連結会計期間 (2024年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,137	19,992
営業債権及びその他の債権	10,779	2,129
未収法人所得税	1	1,536
その他の短期金融資産	1	1
その他の流動資産	149	211
流動資産合計	33,070	23,871
非流動資産		
投資		
ポートフォリオへの投資	42,730	48,357
公正価値で評価している 子会社への投資	7,534	8,255
有形固定資産	35,196	40,102
有形固定資産	178	220
使用権資産	420	661
無形資産	1	1
貸付金	2,387	1,989
公正価値で評価している子会社への貸付	-	200
その他の長期金融資産	260	261
その他の非流動資産	-	1
非流動資産合計	45,979	51,694
資産合計	79,050	75,565

(百万円)

	前当連結会計期間 (2024年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	897	413
未払法人所得税	4,612	15
未払消費税	29	129
前受金	1,406	1,721
借入金	759	369
公正価値で評価している子会社からの借入金	-	40
リース負債	111	229
賞与引当金	258	267
その他の流動負債	119	123
流動負債合計	8,195	3,309
非流動負債		
借入金	2,389	1,989
リース負債	153	303
資産除去債務	212	212
繰延税金負債	10,465	11,126
非流動負債合計	13,220	13,632
負債合計	21,415	16,942
資本		
資本金	7,634	7,634
資本剰余金	6,421	6,453
利益剰余金	43,574	44,533
新株予約権	0	0
自己株式	△6	△5
親会社の所有者に帰属 する持分合計	57,624	58,616
被支配持分	9	7
資本合計	57,634	58,623
負債及び資本合計	79,050	75,565

主要財務数値

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前第2四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	前連結会計期間 (2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前利益(△は損失)	6,808	2,893	25,985
減価償却費及び償却費	92	176	205
受取利息及び受取配当金	△91	△214	△251
支払利息	107	154	255
引当金の増減額 (△は減少)	153	9	191
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,629	8,650	△10,573
ポートフォリオへの投資の増減額 (△は増加)	△1,651	△720	933
公正価値で評価する子会社への投資の増減額 (△は増加)	△2,630	△4,905	△7,259
貸付金の増減額 (△は増加)	△2,258	440	△2,220
公正価値で評価する子会社への貸付金の増減額 (△は増加) その他の資産の増減額 (△は増加)	-	△200	-
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	23	0	37
その他の資産の増減額 (△は増加)	△22	△77	△6
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△452	△471	56
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△0	99	△7
前受金の増減額 (△は減少)	286	315	791
その他の負債の増減額 (△は減少)	△25	3	△0
その他	0	△0	△0
小計	△1,290	6,152	8,138
利息及び配当金の受取額	11	184	27
利息の支払額	△52	△129	△63
法人所得税の支払額及び還付額 (△は支払い)	△1,478	△6,663	△2,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,809	△456	5,818

(百万円)

	前第2四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	前連結会計期間 (2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△0	△83	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0	△83	△102

(百万円)

	前第2四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	当連結会計期間 (2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
公正価値で評価している子会社からの借入れによる収入	-	1,540	-
公正価値で評価している子会社からの借入金の返済による支出	△3,500	△1,500	△3,500
借入れによる収入	2,255	-	2,255
借入金の返済による支出	△390	△831	△780
リース負債の返済による支出	△70	△107	△141
自己株式の売却による収入	20	31	52
自己株式の売却による支出	△0	-	△0
配当金の支払額	-	△737	△398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,684	△1,605	△2,501

用語集

本資料における用語	用語の内容
AUM (Asset Under Management)	運用資産残高。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額又は投資ポートフォリオのFair Valueいずれか大きい金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオのFVIにより集計
FE AUM (Fee Earning AUM)	投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高により集計
MOIC (Multiple Of Invested Capital)	各ファンドシリーズにおける各投資案件への投資実行総額に対する総回収額及び未回収の投資先企業のFVの合計の割合
IRR (Internal Rate of Return)	投資案件に対するリターンを年率換算した収益率
プリンシパル投資	LPから集めてきたファンド資金によるファンド経由の投資(ファンド投資)ではなく、当社グループ自己資金による投資
管理報酬	ファンド運営の対価として当社グループが四半期ごとにファンドより受領する金額。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高を基礎として報酬料率(年率1.85%~2.00%)を乗じた金額。
経営支援料	投資先企業より当社グループが受領する経営支援に対する対価
リカーリング収益	管理報酬と経営支援料の合計であり、当社グループが安定的に受領することが期待できる収益
GP (General Partner)	ファンドの運用に対して無限責任を負う組合員を意味し、ファンドの運用者である当社グループを指す
LP (Limited Partner)	ファンドの運用に関する権限を持たず、その責任はファンドに出資した金額を上限とする組合員を意味し、当社グループが運用するファンドの投資家を指す
ハードルレート	組合契約上で定められるファンドの投資家への優先分配を定めた割合。現行のファンドシリーズにおいては出資履行金額に対して年率8%(当社グループはGPとして、当該割合を超過後にキャリドインタレストを受領する権利が発生)
i-Engine	当社グループによるハンズオン型経営支援の呼称
DPI (Distributions to Paid-In capital)	ファンドの投資家による累計出資金額に対する投資家への累計分配金額の割合
キャリドインタレスト(CI)	ファンドがハードルレートを上回る分配を行った場合に当社グループが受領出来る分配額であり、ファンド利益累計額の20%から既に受領済のキャリドインタレストを控除した金額
未実現キャリドインタレスト	各四半期時点で投資先企業をその時点のFVで売却したと仮定した場合に当社グループが受領することが出来ると見込まれるキャリドインタレストの金額より既に実現済のキャリドインタレストを除外した金額(役員によるGP出資分を除いた当社グループ取得見込み金額)
UCAT (Unrealized Carried Interest After Tax)	未実現キャリドインタレストから実効税率に基づく実現時の想定税金額を控除した金額
経済収益ベース純資産	連結財政状態計算書の「親会社の所有者に帰属する持分合計」とUCATの合計金額であり、未実現キャリドインタレストが実現したと仮定した場合に想定される資本の金額

INTEGRAL

A stylized red integral symbol (\int) is positioned vertically over the word "INTEGRAL". The symbol is composed of two curved segments, one above and one below the horizontal line of the text, meeting at the center. The red color has a slight gradient and a fine dotted texture.